

## 【メルマガ創刊 5000 号・記念発売】

「『物語』を自在に操れる者だけが、  
人生を思い通りに生きられる」

放談会音源

お聴き下さった方からのご感想集

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今から一年後を想像した時に、物語音源を聴いていた場合と聴いていない場合を想像すると、全くの別人になっている。ということがかなり明確にイメージできます。

目標・日記・物語と、3つの音源を揃えるのに約1年という歳月がかかってしまいました。

それぞれの音源を聴いた後には感想を書かせて頂いているのですが、だんだんと感想を書くことが難しくなってきました（汗）

なぜ感想を書くのが難しくなったのか、という点について考えていくと、音源を聴くたびに自分の中で考え方の変化（意味づけの変化）が起こる一方、それを言葉で伝えることができないから。ではないかと考えています。（むしろ、簡潔な言葉で表現することで陳腐化してしまうのではないかと思います。）

ただ、あえて物語音源で学ばせて頂いたことを言葉に落とし込むとするならば、（語弊を恐れずに書かせて頂くのであれば）人生とは、（ある意味）物語であるが、それを意識している人は少ない。だからこそ、物語を意識することによって、自分の人生を劇的に変えることができるようになる。なぜなら、物語を意識することで、自分の人生を客観的に見つめることができるようになり、結果として自分の人生の軌道修正をすることができるようになるから。というイメージでしょうか。

この音源を聞いていなかったら、（自分の主観的な物語しか見えていなければ）、不測の事態に陥った時に人生詰んでしまっていたかもしれません。この気づき、学びだけでも値段の1000倍以上の価値があると思います。（人生詰んだら終わりですからね。。）

また、物語音源では上記の学びにとどまらず、複数の観点から物語の効果・効能について説明して頂きました。（とりわけ、二日目の放談は圧巻でした。この放談を聴き、ビジネスを進める上で物語は必須ということを感じました。）聴けば聴くほど、この音源は安すぎるという印象が強くなっています。

今から一年後を想像した時に、物語音源を聴いていた場合と聴いていない場合を想像すると、全くの別人になっている。ということがかなり明確にイメージできます。 目標を見据えた上で毎日書く日記に加え、物語によって人生に意味づけを与え、軌道修正をしていくことが習慣化されれば別人になっていくのは当たり前ですね。。と少し偉そうなことを書いてしまいましたが、まだまだまだまだ修行の身、物語を少しでも使いこなせるようにするべく、日々量稽古にはげみ

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

ます。

本当に素晴らしい学び・気づきを提供頂き、有難う御座いました。  
今後とも、何卒宜しくお願い致します！

(株式会社 CODOR 代表取締役 大橋亮太 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

この「物語」音源において、「物語」の重要性をことさらに認識することができました。

この「物語」音源において、「物語」の重要性をことさらに認識することができました。ひとたび、「物語」の重要性についてアンテナが立つと、現代においては、「物語」「ストーリー」「意味」が非常に重要になってきている、ということが、理解できるようになってきました。「物語」が、どれほど影響力を与えるのか、について、ひとつの実験をしてみました。

学びのコミュニティにおいて、一定期間において、優秀だった人は誰なのか、投票する制度があるのですが、その中において、いくら売上があげられたのか、という自分視点の「スペック」重視とはせず、コミュニティの中で、圧倒的で圧巻の他者貢献の行動を行い、継続して貢献を続け、「成功」も「失敗」も含めて、ストーリー性が感じられるように常に報告、情報発信を行ってきました。

すると、スペック的な面での「売上」を、自分以上にあげている方々が多数、存在しているにも関わらず、「物語」を紡ぐことを重視して、上がり下がりも含めて、報告を行ってきた自分が、投票数を多く集めることができ、結果、最優秀賞を獲得することができました。

この些細な、数ヶ月にわたる実験において、「物語」が人々の心に大きな影響を与える源泉となる、ということを実感し、腑に落とすことができた次第です。自分自身、大きな成功を収めているわけではありませんが、遡増していく人生において、力をため、刃を研ぐ時期であり、粛々と行動を実践して、経験値をためていくことが、後々の大爆発につながる、というストーリーを、これからも紡いで、倦まず弛まずの研鑽を積んでいこうと決意を新たにしました。

引き続き、音源を細胞レベルで染み込ませるべく、BGMとして聞き続けていきます。

今後とも、よろしくお願いいたします。

(S. I 様)

今回の物語音源は自分をその気にさせるだけではなく、他者をその気にさせるヒントにもなると思いました。

●今回の物語音源は自分をその気にさせるだけではなく、他者をその気にさせるヒントにもなると思いました。

目標や日記は自分で実際やってみることでしか成果は感じられませんが、物語は相手に語ることで相手は聴いているだけでその気になれる、あくまでも善用することでビジネスにも役立てると思います。

●日記音源を聴き、さあ書くぞとなっても最初は？や！はなかなか見つけることができませんが、まずは物語を知ることで擬似体験ができ、いろんな行動を起こさなくても現状のままでネタが増えるので書きやすくなります。

●目標音源で仲間をもつことの大切さを教えて頂きましたがこれもすぐには作れない、でも物語を知ることで物語の主人公を応援したり、主人公から教訓を教えてもらうことで鼓舞され、仲間意識に近いものを持つことができる。

以上、まさに三位一体の完結編にあたると思います。

あと、今回の物語フォローアップ音源についてですが、世間では少なからず『おまけはいらぬからその分安くして』と思うサービス商品もありますが、鮎谷さんの音源にはもっと話を聴きたいと思う魅力・価値があり非常に満足しております。

まさに売れてから先のことを考えてもらった感があり、5000日記念にふさわしい、これも一つの小さな物語のようでした。

いつか鮎谷さんが私の履歴書にのることを心待ちにしております。  
ありがとうございました！

(経理 M. S 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

まだ始めたばかりで、簡単に挫折してしまいそうになりますが鮎谷さんの明るい声を聞きながら己のテンションを上げて、たまには3歩進んで2歩下がってしまっても、エヘと笑いながらしれっと続けていこうと思いました（笑）。

実は物語放談会のフォローアップ音源を聴いていた際に不注意から怪我をしました。

幸いにも色々な方々に助けていただき、すぐに適切な処置を受けることが出来、おかげさまで大事には至りませんでした。

治療を受けている間というのは、案外、暇なものです。

おまけに麻酔が効いているので、痛みも全くありませんし、当事者ですから、怪我の状況を客観的に見ることもできませんし、現実感が希薄になりがちで、妙に冷静で無意識にか、それとも意図的に、だったのか、尊敬するコンサルタントの方のお話を思い出していました。

その方はかつてサラリーマンだったのですがある日、ありえないような状況で怪我をなさいました。

怪我自体は急所がうまく外れていて、たいしたことはなかったのですが、怪我をした場所が場所だけにこれは何かあるぞ！と思ったそうです。

案の定、翌日、突然のリストラを言い渡されます。

しかし、そのリストラがきっかけとなり、その後のコンサルタントとしての活躍が始まる、というものです。

私はその話を思い出しながら、では、私はここからどう変わるんだろうか、と考えていたのです。

もちろん怪我をしたからといって、人生が自動的に変わるほど、甘くありません。

しかし、明らかに「コンサルタントの先生の成功のきっかけとしての怪我」の話を知っていたからこそ私はその事例の都合のいい部分だけを自分に当てはめ、自分を鼓舞しようとしたのだらうと思います。

そしてそれは明らかに鮎谷さんの音源を聞いていたからです。

もちろんだんに書籍や話で知識が入っていたとしても実際に経験してみると全くスケールが違って驚いたりとまどったりすることが多々あります。

それでも全く無防備な状態で経験することによって、心が暴風雨の中に投げ出されどこに行くのかわからない、なされるがままの状態で苦しむよりも、せめて華奢でもいいから傘と、簡素でいいので地図さえあれば、他の誰のものでもない自分の人生なんだから、起こっていることや、向かおうとしている場所を自分なりに意味づけして生きていくことが出来るのではないかと思います。

そのための傘と地図が物語と日記なのだと思いました。

今起こっていることを、物語という傘のフィルターを通して受容し、日記で自分の向かいたい方向の地図を作り続ける。

まだ始めたばかりで、簡単に挫折してしまいそうになりますが鮎谷さんの明るい声を聞きながら己のテンションを上げて、たまには3歩進んで2歩下がってしまっても、エヘへと笑いながらしれっと続けていこうと思いました(笑)。

いつもどうもありがとうございます。

(今回は本当に救われたような気がしました。ありがとうございました)。

(税理士 C. T 様)

目標設定音源を拝聴したときに、自分の Being が物足りないと感じ、どうしたらより納得のいく Being が持てるのか疑問に思っていました。この物語音源を聞いてヒントをもらった気がします。

物語放談会およびフォローアップ音源を聴かせていただきました。ありがとうございます。

学ぶところが多すぎて、今でも繰り返し聞いておりますが、現時点での感想をお送りします。

これまでは日常の生活や仕事を行う（行わされる）ことに何となく満足して、ほとんど自分の意志で何かを選択、決断する事は無かったように思います。ましてや自分と向き合う機会もありませんでした。日記（時々刻々の記）をつけるということは自分と向き合い、自分を総括する事であるという所が、私にとっては大変新鮮に感じました。

目標をただ立てるだけではいずれ忘れてしまう（忘却曲線）から、その目標を日々の生活の中に浸透させ、常に考え続けるレールの役目をするのが「日記」であり、その目標に臨場感を持たせ、自分の中に落とし込みやすくするのが「物語」なのだということも印象に残りました。

まずは他の人の物語をインプットしてストックすることと、自分がビビッとくることに常にアンテナを立てて、そこを深く掘り下げ、多くの物語の中から共通の「光る玉」を見出すことで自分の「Being」が見えてくる、という所にとてもビビッときました。

と言いますのは以前、目標設定音源を拝聴したときに、自分の Being が物足りないと感じ、どうしたらより納得のいく Being が持てるのか疑問に思っていました。この物語音源を聞いてヒントをもらった気がします。

さらに、目標、日記、物語を全て言語化することでより強力に自分の中に入れていくことができるから、物語は一種の自己暗示と捉えることもでき、利用次第では大変強力な刷り込み効果があるので、自分を鼓舞するために良い方向へ利用しましょうとのお言葉に、ちょっと緊張感と身の引き締まる感じがしました。

今でも、目標設定放談会、日記放談会、物語音源を繰り返し拝聴しておりますが、びっくりマーク！が立った事をスルーしないですぐに書き留めるため

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



にメモ帳を手元に置くようにしました。些細なことかもしれませんが、なんとなく書き留めなくては気が済まない気持ちになってきたのは、鮎谷先生の音源を繰り返し聞いた効果が出始めているのだと勝手に納得し、日記とそれに紐づく物語を編み始める入り口に來られたのではないかと思っております。

今後も鮎谷先生の音源を聞き続けていきたいと思ひます。

目標設定については「目標設定&目標達成放談会音源」を購入し聞いておりますが、「フォローアップ編」と「Q&A 放談会」も聞きたいので、よろしければ割引クーポン欲しいです！（セットで購入しておけば良かったと後悔していません。）よろしくお祈りします。

（N 様）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

この一連の三つの目標設定、時々刻々の記、物語に触れ、物語を編むという動的な作業、行動の継続的、永続的な相互作用が、OS のバージョンアップに繋がっていくのだと確信しました。

鮎谷先生、大塚様、坂元様、長内様

毎々お世話になりありがとうございます。  
感想が大変遅くなりまして申し訳ありません。

物語に関する音源の感想を下記いたします。

目標設定の音源と時事刻々の記を過去数ヶ月間に何度も拝聴し、自分では良く理解できたような気になっておりました。

今回の物語に関する音源もすんなりと頭に入ってくるつもりで、運転中に何回か拝聴しておりましたが、いざ感想を書こうとすると、それぞれの豊富で具体的な物語に気をとられ、本論がなかなか理解できておりませんでした。

早速ルンバを購入して部屋の掃除を念入りに行ったりと、本来の先生のご主旨ではないところにまずは反応しておりました。\*（これはこれで元を取ったような気分です。）

音源はやはり心して、机に向かって拝聴しメモを取らなければ、本論を見失ってしまうことがよくわかりました。

目標設定の being の確立に向けての旅に出ること、すなわちたくさんの人々の物語に触れ、また実際にその方々に会って、その物語から得られる教訓を普遍化する作業であり、その作業は時々刻々の記というツールで表現することにより、深層心理下に埋め込まれていたであろう自分にあったものへ取捨選択されていくのだと理解しました。

まさにあまたの物語と自分とのすり合わせによる、本来自分が目指している being の構造化であり、自分の人生の意味付けと目標に向けての己の行動規範を判断し、制御する OS のごとき強固な意思決定基準へ昇華するのだと納得いたしました。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

この一連の三つの目標設定、時々刻々の記、物語に触れ、物語を編むという動的な作業、行動の継続的、永続的な相互作用が、OSのバージョンアップに繋がっていくのだと確信しました。

確かに物語で語られると、ロジックでは論破できないことを事例を基に解き明かしていただき、このことはまったく新しい発見でした。  
悪用しないでくださいというお言葉が今でも印象深いです。

ひよんな事から、ヨットマンの方の音源から入り、先生の複数の音源を拝聴することができ、自分が生まれ変わったような気がしています。

今後とも引き続き何卒ご指導をよろしくお願い申し上げます。

(素材メーカー 営業 K. A 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

これからも、大量行動によって物語を大量インストールし、心が震える内容を言語化し続けようと思った次第です。

いつもお世話になっております。

今回も貴重な音源を発信していただき、ありがとうございます。

今回の大きな学びは、

「心が震えた物語を自分にインストールすると、それが、将来、自分の文脈の中でオリジナルの物語になっていく」

「インストールした物語が多ければ多いほど、オリジナルの物語は、多軸から織り込まれて美しくなる」

ということです。

まず目標設定があり、その目標に向かう大量行動の成果が、時々刻々の日記で言語化され推進力となり、その全過程で「インストールされた物語」が作用し、自らの「オリジナルの物語」に置き換わっていく。この編まれ続ける物語がさらに自らを没頭没入させ、圧巻の領域に至り、それは、美しい。

これからも、大量行動によって物語を大量インストールし、心が震える内容を言語化し続けようと思った次第です。（あと数日でブログも2000号！）

また、最後のスポーツの例えが、非常に刺さりました。

どんな物語を選ぶかは自由ですけど、選んだ物語によって、メッセージは変わるということ。だからこそその目標設定であると腑に落ちました。

目標を軸するから、自らの「オリジナルの物語」が編まれていく。

そうでなければ、他人の「単なる短編集」に過ぎませんから。

今回も上記を始め、多くの学びをありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします！

（奥田 龍史 様）

今回の音源を聴かせていただいたことで、鮎谷様のおっしゃる「物語」の意味を真に知ることができ、全てが美しくまとまり腑に落ちたという感覚です。

鮎谷様

セカンドステージ スタッフの皆様

いつも大変お世話になっております。

「物語放談会」の音源を提供いただき、その上「フォローアップ放談会」音源までプレゼントいただき、本当にありがとうございました。

「物語放談会」および「フォローアップ放談会」を聴かせていただき、ようやく「目標設定放談会」「日記放談会」を通して、鮎谷様がお話しくださってくれていたことの真意をつかめたような気がしております。

それぞれの音源だけでも十分深い気づきを得るものがありました。が、今回の音源を聴かせていただいたことで、鮎谷様のおっしゃる「物語」の意味を真に知ることができ、全てが美しくまとまり腑に落ちたという感覚です。

確かに、自身を振り返ってみても、小説や映画、また実在する人物の生き様に触れることで、心を動かされ、その結果として現在の自分があるのだと知らされます。

ただ、それらを意図的に集め、自身の血肉とし、こう在りたいという自分の未来像を構築するピースとするという発想はありませんでした。

鮎谷様の音源を聴くことがなければ、これまで通りたまたま知り得た知見の中でしかピースを集めることはできなかったはずです。

しかし、今回音源を聴かせていただいたことで、望む在り方、編んでいきたい物語を明確に思い浮かべることができましたので、あとは、日々心を動かされるピースを集め、それを時々刻々の記として言語化していくことで、怒りや嫉妬、欲望の濁流の中であって、安定して目指す方向に向かって航行できるように感じています。

鮎谷様のお話しの中でとくに心に刺さったものとして、経済的に豊かな人や社会的に地位の高い人に気後れしてしまうのは、自分の中に確固たる物語を持っていないから、というようなお話しがありました。これなどまさしく自分自身のこ

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

とを言われているようでした。

些細な波風に揺られてしまうのは、自分の物語を編めていない、自分の人生を歩んでいないことと同じなのだ気づかされました。

周りの同業者から、経営者となるためには職人を卒業していかなければならないと言われ、ここ数年、職人であることから離れようとしてきました。しかし、どうにも力が入らず、仕事をしていく目的もどこか耳障りのいいものを選び納得しようとしていましたが、鮎谷様のお話をお聴きして、“このままでいいんだ！”とまさしく我が意を得たりという感じで、**勇気と希望をいただきました。**それ以来、すっかり現場に立つ職人として陣頭指揮を執っております(笑)

まだまだ高みにある目標ではありますが、このまま微差を積み重ね、高等な物語を編み続けていけば、きっと辿り着けるという手応えを感じております。

鮎谷様、本当にありがとうございました。

今回も確かに「希望」を頂戴いたしました。

(株式会社イーハトーブ 代表取締役 小林 正佳 様)

今回のお話を聞いて我が身を振り返るに、あまりにも外部からの刺激によって一喜一憂していたことが多く、何も自分なりの「物語」を持っていなかったことを痛感しました。

鮎谷様、セカンドステージの皆様

この度は物語放談会及びフォローアップ音源を拝聴させて頂きましてありがとうございました。

この音源は鮎谷さんがご説明されていたとおり、「目標設定放談会」「日記放談会」と並ぶ三部作との位置づけとなっていることがよくわかりました。

私なりの解釈では「目標設定放談会」では、各人が目指すべきゴールを定めるとい比較的抽象度の高いお話があり、「日記放談会」では日々の具体的な行動としての日記の重要性を解説されており、この「物語放談会」ではその中間にある目標達成と日々の具体的な行動を結びつけるための考え方をご教示されていると考えました。

今回のお話の大きなテーマとしては、

「自らの外部からの刺激や外部に存在する事象や物に対してどう処するか」

ということではないかと感じました。

すなわち、自らの外部の領域については自ら直接的にコントロールできるものではないことを前提として、その外部の存在に対して「物語」という「解釈装置」を通すことによって自らの目標達成等に対して有効な解釈を与えようということが主眼なのではないか、と考えました。

お話の中では

- 何でもない場所に物語によって意味付けを与える「鮎ストップ」
- 多くの物語を搭載していることによって危機に瀕しても動じないこと
- 無機質な情報提供だけで物は売れないこと、物語なくして営業は語れないこと
- 一見無意味なものに対して独自の物語を与えることにより「学」が生まれること

などが印象に残りました。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回のお話を聞いて我が身を振り返るに、あまりにも外部からの刺激によって一喜一憂していたことが多く、何も自分なりの「物語」を持っていなかったことを痛感しました。

「ビジネスの世界は世界観戦争」という言葉も仰られていたかと存じますが、「世界観」＝「物語」を持っていなければビジネスの世界で不戦敗になってしまうのも当然の話であると改めて感じました。

今後は特に、

- 他の人の物語を感じようとする事
- いい物語については自分の物語として輸入していくこと
- 外部からの刺激に対してはまともに受け止めるのではなく、物語を介して受け止める習慣づけをすること

を意識してやっていきたいと思います。

今後も新しいお話を楽しみにお待ちしております！

(アンサーズ法律事務所 荒木 俊和 様)



今週、先週の売上げは、去年、一昨年 週平均の2-3倍というような結果になっています。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

【物語放談会音源】を購入し、その後の放談会に参加させていただきました。

今年、3回目の鮎谷さん主催セミナーに参加でした。

2017年1月2日に目標設定セミナーに参加、目標を毎週、紙に書きつづける生活を続けています。

その後【物語放談会音源】を購入した前後から、お客様が急増するという現象がおきています。

この数日は、目が回るほど、多くのお客様が来店し、セールスしなくとも自然と売れていく状態になっています。これが、鮎谷さんのいう「セールスしなくても売れていく状態」なのかもしれません。

この事業を始めてもう6年になりますが、こんな状態になったのははじめてです。今週、先週の売上げは、去年、一昨年 週平均の2-3倍というような結果になっています。

これは、鮎谷さんのセミナーや音源、メルマガのおかげだと思っています。平成進化論メルマガに感動し、今年からその感動を毎週、社員にシェアし続けました。その結果、自分の人生（物語）を生きていることを実感してくれた社員が頑張っ、変わろうという気になってくれたのがうちの業績に大きく響いていると思います。

これからも、鮎谷さんから学んだことも、まわりの人にもシェアし続けていこうと思います。

(R. Y 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

自分のなかにある「物語」（「言葉」）によって、物事に対して向き合う姿勢が変わることは、間違いないと思います。

自分のなかにある「物語」（「言葉」）によって、物事に対して向き合う姿勢が変わることは、間違いないと思います。

例えば、「結果は遅れてやってくる」という「言葉」を自分のなかで繰り返していたことによって、努力を続ける力が生まれ、その瞬間、瞬間に結果を求めなくなるようになりました。

ただ、これまでは「物語」によって解釈を変えるという意識を持っていなかったため、意識して「物語」を自分のなかに取り込む、あるいは場面に応じて引き出してくるということをしていませんでした。自然に任せていたという感じが正しいと思います。

今回の音源を聞いたことで、その力がいかに強力であるかということを知り、「つくづく、これまで勿体無いことをしていた」ということ痛切に感じた次第です。

鮎谷さんが音源のなかで語られているように、自分のなかにある物語の多さで、出来事に対する意味づけが変わるということは間違いなく、また、先達の方々の物語を、自分に“都合良く”編纂しなおし、自分の物語をつくりあげてしまえば、その先には明るい未来が広がるということも真理だと思います。

今はまだ、インプットが足りないと感じています。

自分オリジナルの物語を編纂するべく、引き続き、地道にインプットを続けていきたいと思います。

（気づきメモ）

【「物語」は人生を好転させる「解釈装置」であり、その「解釈装置」を自由自在に操ることができれば、どんな出来事もより良い人生を形作る材料として活かすことができる。】

・どういう「物語」を自分のなかを持っているかによって、人生・社会に向き合う姿勢が決まってくる。

自分の人生をイメージすることができる。

・踏み外したときに、その状態からリカバリーするための「物語」があるかないかで、その後の人生が大きく変わる。その瞬間に終わったと思えば、そのまま自己達成予言が発動され、本当に人生が終わってしまう。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

- 良くない出来事に直面したときでも、自分に都合の良い「物語」を臨機応変に選び取ることができれば、踏みとどまることができる。

- 「物語」はカーナビのように、たとえルートからそれでも目的地に向かう道を必ず探し出す。

- 何かが起こってからでは、物語を探す気力は湧いてこない。自分のなかにはないものは、探せない。

- 「物語」は「解釈装置」である。解釈装置の精度を高めるためには、徹底してインプットを行う必要がある。自伝は最適。

- 「物語」のインプットは、その瞬間には意味を持たないかもしれないが、何かが起こった瞬間に、その力が発揮される。

【「物語」には、この無機質な世界で、人の心を惹きてやまない魅力がある】

- 「物語」によって心が動く。感情の動きがないものには惹かれない。

- 情報過多の時代、脈略のないもの、無機質なものには興味は湧かない。

- 意味は「物語」によって与えられる。「物語」によって、物事の意味付けが変わる。

- 同じことを別のフィルターで見る。同じものを見ていても、「物語」によって意味を付与された瞬間にまったく違うものに見える。

- 言葉によって意識をもってくる。

- 価値を価値と感じてもらうのは、言葉によってである。

以上です。

(S. K 様)

漠然と脳内にあったものを引っ張り出していただいた感覚です。

今回の音源を聞いて、日記（時々刻々の記ですね）の書き方というか書く心がけというか、を学びだと感じております。

鮎谷さんが「私の履歴書」を引き合いにお話をされていて、自分が仮に履歴書を書くとしたら、どんなことを書きたいか、それを嘘偽りなく書けるように、目標があり、時々刻々の記があり、時々刻々の意思決定を行っていくのではないかと考えました。（もちろん紙に書きました）

今回の音源は、メルマガで鮎谷さんがおっしゃっていたとおり、時々刻々の記を書いていくための後押しとなるような音源であると感じました。

いろいろと興味深いお話をいただきましたが、とくに「本当にそうだよね」と感じたのが、

一般常識に流されるとだいたいマイナスな結果になりがち

ということでした。

自分で意思決定しての流れでない以上、自分へのプラスになることなどありえない、と思いました。漠然と脳内にあったものを引っ張り出していただいた感覚です。ありがとうございました。

脱線しますが、紙に書くことを開始して5ヶ月程度たちましたが、紙とペンを家に忘れて出かけてしまうと、ソワソワしますね。

まるで、本や携帯電話を持たずに出かけたときのよう。

生活の一部になってきたことを実感しています。

この度もどうもありがとうございました。

(M. Y 様)

毎回、お値段以上の価値を頂いております。

鮎谷さん、こんにちは

毎回、お値段以上の価値を頂いております。

ポケモンの事例を挙げて頂き、今回も『鮎ストップ』（音源購入）に立ち止まった意味を考えるよい機会となりました。

「自分だけの物語を持つこと」が商品セールスト、どう密接に繋がるのか、というカラクリを惜しみなく話して下さい、自分のコンテンツに「ストーリー」を加工するヒントも頂けました。

また、新しい情報や知識を得てもらうことよりも、むしろ、「これまでの意味づけを変えて頂く」ことの方が重要である、というお話しが印象的でして、「第2の誕生日」という概念を教えてもらったことで、『誕生日』に対する意味づけを変えることが出来ました。

肉体的な誕生日は一度だけですが、いくつになっても、精神的には何度も生まれ変わることが出来るわけですね。

新しい自分に生まれ（つくり）変わるための、人との出会い、学び、経験、失敗、悟りが、この世界には無数にあり、今後も、第3、4の誕生日（ターニングポイント）を迎える未来に想像や夢を膨らますと、ワクワクします（クリぼっちならぬ、誕生日ぼっちが増えそうです）。

ありがとうございました。

（井手 大輔 様）

物語を持つ事がいかに大切か、言葉を道具として自由自在に操ることが、いかに大切か改めて学ぶことができました。

鮎谷様

セカンドステージ 大塚様

いつもお世話になっています。

この度は、物語放談会の音源提供ありがとうございます。

いつも楽しく、ワクワクしながら聴いています。  
何度も繰り返し聴くたびに新しい気付きがあります。

『人間万事塞翁が馬』という、ことわざですが、ノーベル賞を受賞した山中伸弥氏が自分の半生を振り返りながらお話されていました。私は YouTube でこの講演（確か近大の卒業生へのメッセージ）を見たのですが、強烈に印象に残りました。

言葉を道具として自由自在に操っている人として、秋元康氏（作詞家）が頭に浮かんできました。時代を超えて活躍している数少ない人だと思います。

宇宙物理学者の吉田直紀氏（東大 IPMU）の研究動機も宇宙で一番最初にできた天体（ファーストスター）が、どの様にして、今の宇宙の形になったのか、という物語に惹かれたというお話をされていました。

物語を持つ事がいかに大切か、言葉を道具として自由自在に操ることが、いかに大切か改めて学ぶことができました。

（猪坂 様）

今回の音源も、大変示唆に富む素晴らしいものでした。

いつも楽しく聞かせていただいております。

今回の音源も、大変示唆に富む素晴らしいものでした。

大きく心に残ったところは以下の2つです。

- 人勧万事塞翁が馬の精神が大切

私はこの言葉を座右の銘としているのですが、鮎谷さんがお話しされていて、再度この言葉の価値を再認識いたしました。将来的には必ず良くなる、という信念を持っていれば、すべては物語の一部の出来事になると思います。そうやって、自分の人生を常に物語としてとらえることで、前向きな気持ちを維持していければと思いました。

物語化する能力を高めるために、たくさんの自伝を読むことをおススメしておりましたが、たしかにたくさんの自伝を読み、サンプルを蓄えることで、物語能力は磨かれると思いましたので、実践していこうと思いました。

- 誰が語るかが大事

商品よりも、誰がその商品を買っているか、というのが大事、というところが印象に残りました。自身の営業活動にも、お客様の心に響く物語を編んでいけるよう、日々知恵を絞って営業活動をしていきたいと思いました。

また次回も楽しみにしております。

今後ともよろしく願いいたします！

(営業 I. Y 様)

**痺れました。再び鳥肌ものでした。**

目標設定、日記、そして、最後に物語を聞かせていただきました。

改めて、「言語化する」力、大切さを実感いたしました。

私自身、もともと伝記や歴史やインタビュー、一人の人を追ったドキュメンタリーが好きでした。

その理由は？と人から聞かれても明確に答えることが出来なかったのであろうと思います。

しかし、今回音源を聞いて、鮎谷さんの

「事例をインプットする」

「自分に起こっていることはほとんど誰かも経験している、そして乗り越えた人がいる」

「それを学び、自分なりに「言語化」して、自分の中に「収めておく」そして、何か起こった時に自分でそれを引き出して、自分に当てて、消火させていく。」

「そういった事例は多ければ多い、たくさんの言語で消火させて方が乗り越えやすくなる。」

「自分をコントロールしやすくなる、人生が生きやすくなる。」

という話を聞いて、**痺れました。再び鳥肌ものでした。**

**はい。そういうことか！とズドンと臓器に落ちました。**

（上記表現には一部、その他の音源の表現も混じっているかと思いますが、ご容赦ください。混じっているということは、自分なり聞いた情報を編集していることだと思しますので、歩留まりは高まっていると信じております）

**いつもながら、とても勉強になりました。**

（M. N 様）



「言葉の力」について興味をもっている私にとっては快心の一撃を受けたような感覚もありました。

## 1 内容について

これまでのシリーズより時間的には短いものでしたが、エッセンスが要所要所にちりばめられており濃厚に感じました。

特に「言葉の力」について興味をもっている私にとっては快心の一撃を受けたような感覚もありました。まるで野球を観戦していて期待のバッターが会心のヒットを放ったときのように 思わず手を叩いてしまう場面も・・・

「ああ聞いて良かった♪」

というのが率直な感想です。

今回の物語放談会の音源を聴いて改めて感じことは、目標達成関連の各種音源を購入させていただき 今の自分にとっては赤面するような目標を設定 幽体離脱できるように行動（日記、メルマガなど）を細々とは行っていました、正直なところ目標と現実のギャップの大きさも感じていたところもあります。

しかし、今回の音源を聴いて 目標と現実が「つながった！」とスッキリしました。全ての音源を聴くことで全体像が見えたように感じられました。

実際、まだまだギャップは大きいのですが そこに至るまでの具体的な道標が示されたあるいは梯子がかけられたかのようなイメージが出来ました。

あとはそれらを辿って行ったり登って行ったりするだけです。

簡単ではないと思いますが「第2誕生日」も迎えましたし気持ちを新たに時々刻々と進んでいきたいと思っています。

自分の道具を3つの工具だけではなく増やしていきたいと思っています。※3つの工具の比喻ツボ（どつぽ？）にはまってしまいました（笑）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

2、音源の魅力について 私にとって音源の魅力は2つあります。

1つは「気になる言葉があったときに一回止められること」です。  
最近、短期記憶の低下がすすみ覚えられる単語数が限られてきています・・・  
(汗) これまでの生のセミナーなどでよくありましたが、「いい言葉だな」と  
思い書き止めようとするのですが次の言葉に反応すると忘れてしまいます・・・  
おかげでスッキリしないことが多々ありましたが、音源だと一回止めてゆっくり書きとめられるので精神衛生上も非常にありがたいです。

2つめは、やっぱり「何度も聞き直せること」です。いつでもどこでも聞ける  
手軽さもありますが、何度か聞いても聞くたびに違った気付きが得られるのが不思議な感覚です。 これまでの音源も含めて毎日少しずつですが聞き続けて  
います。

これからも日々気づきを得ながら日々意識をつないでいきたいと思います。  
今回もありがとうございました。

(石田 弘之 様)

「こんな価値があるんですよ！」  
と、今まで見えていなかった、意識したこともなかった価値に気づかされて興奮しています。

妻を説得し、ようやく購入できた音源でした。  
一般的には高いのかもしれませんが、私自身も妻をうまく説得できなかったということは、「真の音源が持つ価値」を分かっていたということだと思いません。

そもそも、音源を聴いた瞬間から一気に変化が起こると思ってしまうところに価値を評価するバランスが崩れていったのかなと感じましたし、そうではない、ということを見事に言語化されていました。

何度も何度も、手を替え品を替え、切り口を変えて説明を尽くす姿、購入者に対して懸命に価値を渡そうと努める姿が頭の中で映像化され、自分自身が恥ずかしくなるほどに、営業とは、人生とは、生きるとは何なのかについて語っていただいています。

「こんな価値があるんですよ！」

と、今まで見えていなかった、意識したこともなかった価値に気づかされて興奮しています。

改めて言葉の持つ力や可能性を強く感じましたし、あらゆる言葉に対してリスペクトを持ちながら接していこうと決意しているところです。

小さな世界に閉じこもり、悶々と過ごしている最近の自分ですが、広く大きな世界に関心を持ち、リアルにまだ見ぬ世界に触れてインプットし続けていけば、「なりたい自分」とは一体どんな姿なのかが明らかになるのではないかと、心打ち震えている次第です。

その感覚は音源を聴かないと得られない感覚だと思います。当然、音源を聴いた次の日から年収が倍になるわけでもありません。

「あの時（音源を買ったとき）がスタートだった、きっかけだった」

と思える日が来るまで淡々と粛々と、やるべきことをやり続けようと思います。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

2014年から個別コンサルを何度か受けさせていただき、何度もおっしゃっていただいていたことと一貫して同じで、全てが繋がっている言葉の数々。

今回の音源（物語）と目標設定の音源を聴いてより一層鮮明に、何に取り組むべきかが見えてきたように思います。

6月に久しぶりにコンサルを受けさせていただきますが、そのときにもまた、より強力な言葉で背中を押していただき、その反動を利用して加速度を持って、解釈力や耐久力が増すようなストーリーのインプットに努めてまいります。

このたびはありがとうございました。引き続き、よろしくお願いいたします。

（（株）京都パープルサンガ 久保大輔 様）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回購入した音源を重読ならぬ重聴して、物語のなんたるかをちゃんと呑み込んでいけるようになりたいです。

日々目標に向かっていっているように見えて時折目標からそれている、ずれている、と感じていました。まだまだ言葉の力を活用できていない、物語って何なのかがちゃんと理解できていない、呑み込めていない、と思っていたので今回音源の購入をさせていただきました。

今起きていることに対してどれだけ物語を持てるか？

わかっているようで分かっていなかったです。

けど改めてこれまでのブログやメルマガを読み直してみて、ちゃんと自分にも物語があるということに今更ながら気づきました。

ひと月 300 時間を超える残業することでブログが書けて、メルマガを書けて、本が出せて、私 金山の商売の展開につながっている。これも物語なんだなと。

残業しまくっていた時はそんなことになるとは露ほども思わなかったけれども、今となってみればあの地獄の体験も、実はとても貴重なお宝だったんだな、と思っています。ならばとてもラッキーだったし運がいいなと思います。

一方で物語について、まだまだちゃんと呑み込めていないな、とも感じてます。なので今回購入した音源を重読ならぬ重聴して、物語のなんたるかをちゃんと呑み込んでいけるようになりたいです。

このたび環境が変わって、短期間ではあるけれど別の場所で仕事をするようになりました。

これがどういう結果をもたらすかはわからないけれど、ここでも物語を編むことで、今後の自分の人生を面白おかしくできるだろうし、もっともっと満ち満ちたものにできるはずだと考えています。

人によってはこの異動をラッキーと捉える人もいるし、気分が重たくなってしまいう人もいるでしょう。正直言うと私も気分が重たくなってしまいうことがあります。

一方で新しい環境なのでワクワクしている自分もいます。

いろんな感情が入り混じってやや複雑な感じになっています。

これも、まだまだ言葉をちゃんと使いこなせていなくて、物語の力をまだまだ実

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

感できていないんだな、と。

と感じて、今回音源を購入しました。

言葉を持つことである程度のイメージを持つことができる、と鮎谷さんは仰っていますが、これまでの自分を振り返ってみてもその通りだなと思います。

残業減らす！と決めてそれに向かって動いたら減りました。

あるサラリーマンのブログセミナーに参加して、あんな風になりたいなあと思いながらブログ開設したら、そのサラリーマンブロガーさんみたく出版のお話頂いたり。

改めて、自分にもいくつかの物語があることがわかったし、まだまだ物語のなんたるかをわかってない、考えてもいないことも判明したので、音源重聴してしっかり呑み込み、ブログやメルマガ、個別コンサル提供に活かしていきます。

この度はありがとうございました。

引き続き、年間プログラムでもよろしくお願ひ申し上げます。

(建設会社勤務 金山 直志 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

目標音源日記放談会物語、、、  
これらの音源を自身の背髄にまで浸透させるように繰り返し、聴き込もう  
と決心をした次第です。

今回の音源を聞かせていただきいろいろな学びがありました自身の中で

「これだ！」

と、思った点は

「言葉で意味付けを与える」

という、言葉の真意が初めて理解できました。

当方はサラリーマンなのでいつも、同じ通勤経路を歩いています。  
正直な話、

「いつもと同じ」

「無味無色」

「灰色のアスファルト」

の上を、ただひたすらテクテクと歩いています。

そこには「感情」のかけらもなく無機質で、歩いているだけでも足取りが重くな  
ります。

でも、視点を空に移すと

「真っ青な空」があり

「曇天の分厚い雲」があり

「大粒の雲の涙」が降り注ぐ、、、

視点を足元に移すとアスファルトから飛び出てくる雑草や黄色や赤のチューリッ  
プ、茶色の土の上に菜の花畑が広がっている、、、

と、言うように「視点」の取り方一つで同じ「通勤経路」であってもいろいろな  
ものが見えてきます。真っ青な空を見て「元気」になったり、真っ赤なチューリ  
ップで「気分がよくなったり」地面から突き出る雑草に「勇気」をもらう。そう

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

いう、無味無色で灰色な景色に彩りを添えて、見る人に対して「意味」を与える。これが、

「言葉で意味付けを与える」

という本当の意味だと理解できました。

言葉を変えると「鮎ストップ」というところでしょうか？笑

どんな物やサービスにも「意味」を「言葉」で添えてあげるだけで無機質な物質や無表情なサービスが宝物に見えることもあるかもしれません。

パソコンの傍に置いてあるペットボトルの水でさえ「物語」があります。

商品名は伏せますが

「天然中硬水硬すぎず、柔らかすぎず程よく飲みやすい中硬水です」

と、記載されています。

これだけだと、僕の中の意味付けは弱いですが、綺麗でピュアでナチュラルな水を飲むことで自身の肉体を生まれ変わらせる人生を一変させる

「転生水」

という意味づけを与えるとただのペットボトルの水であってもそれだけで、人生にとってかけがえのない貴重な水に生まれ変わります。

今回の音源で学んだ

「言葉で意味を付与する」

というのは、お客様が心の底から感情が動く「物語」を付与することで誰にも負けない「付加価値」を創造することに他ならないと個人的には思いました。

いつも、貴重な学びを与えていただきありがとうございます。

目標音源日記放談会物語、、、これらの音源を自身の背髄にまで浸透させるように繰り返し、聴き込もうと決心をした次第です。

長文になりました。ここまでお読みいただきありがとうございました。

(平島 伸一 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



全てが自分の人生の意味けの材料になると意識できます。

物語放談会音源を購入、数回拝聴致しましたので感想をお送り致します。

実は御社のいくつかの音源をどのパターンの順番で購入、拝聴するとどのような効果の違いがあるかなあと、楽しく想像しながら次に購入する音源を選んでいたところ、この音源の発売案内を見て即効衝動買いしてしまいました。

これは早めに拝聴、咀嚼、消化しておくべき内容ではないかと直感したからです。

内容は期待に違わないものでした。多くの気付きがありました。

ご迷惑でなければ今後も感想をずっと送りつづけます（日記書くのは1日1回と限らないのと同じで感想も1音源1回と限らないと勝手に解釈）

臨場感を持った情報としての物語の収集を通じて自分のリアルをレコーディングしていくようなイメージを持ちました。

またアナロジーとして。

私は映画が好きなのですが、過去の映画を知っているほど、今日観た映画やその場面に深い意味付けが出来る場合があります。

その映画単独として鑑賞してももちろん内容、意味付けは成立しますが、映画の編んで来た歴史そのものがさらなる意味付けを行う場合があります。

自分がどんな映画を見て来たかで、その意味付けの切り取り方が変わるんだなあと思いながら映画を見て来ました。今回の物語に関する音源を聴いて、それはリアルな人生にも当てはまるんだと初めて強く腹落ち致しました。

そしてそのことを想像するだけでも新たな物語との出会いが楽しくなります。

全てが自分の人生の意味けの材料になると意識できます。

その意味でも新しい音源も待ち遠しく、楽しみにしております。

（不動産業 K. T 様）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回も、頭の中がガラッと書き換わるような経験ができました。

いつもお世話になっております。

物語放談会の音源を購入させて頂きました、大嶋厚裕です。

感想の送付が遅くなり、申し訳ありません。

今回も、あらゆる箇所に気づきがあり、また何度も繰り返して聴いているうちに、異なる様々な箇所にアンテナが反応したため、まだ自分の中でまとまりきれず、風呂敷が広がったままの状態であると感じていますが、現時点での感想を提出させていただきます。

最もいろんなことを感じたのは、

「逆境にある際に希望を感じさせ、人生をポジティブに次の段階に乗せるための解釈装置としての物語」

ということ。

そもそも物語とは、逆境がなければ成立しないもの。

様々なことに挑戦していけば、失敗したり、ころころならずも人に迷惑をかけてしまうことは起こってしまうことだと思いますが、そういったことを避けて通ろうとしていたら、新しいものと出会えることもなく、従って新たな発想で仕事をしたり、お金を稼いだり、人間関係を築いたりすることにつながっていかない。

すなわち「逡減する人生」になってしまう、ということ。

その茹でガエルのような苦しさは、散々身を以て感じてきたし、目標設定音源、日記放談会音源と購入して日々聞き込んで行くなかで、自分の心的態度とか、既存の人間関係の中でのコミュニケーションの中では、小さいけれども明らかな変化といえるものをいくつも感じていますが、いざ未知の領域に踏み出そうとすると、震えてしまって動けない、というのも実際まだまだあるな、と感じています。

それは

「うまくいかなかったらどうしよう」

という、恐怖が勝ってしまっているから。

でも、その「どうしよう」という事態とか、予測していた以上の不運なことが起

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

き、そこから復活した人だっていくらでもいるわけですね。

物語を持つということは、例えば何かうまくいかなかった時に、「失敗した」という単一の事実だけに焦点を当てるような思考から脱却し、

「失敗した、けれどどうすれば良くなるか」

という、時間軸を伴った考え方にシフトする、ということ。

短期的よりも長期的に捉えること。

ちょっと違うかもしれませんが、ストックとしての数値に注目するのではなく、フローに注目すること。

日記放談会の時に、曖昧だった「過去の書き換え」への理解が進んだように**思います。**

挫折や失敗は、事実は事実としてありますが、それをネガティブに着地させないためには、強制的に時間軸を長くとって、その中で解釈していくこと。

やすやの創業者の方のお話は、44歳でキューサイの社長に

「いい加減いい歳だし、一個に決めろ」

と言われて決めたということですが、僕は、そこに至るまでに、年齢に関係なく様々なことに挑戦されていたその方も、最終的には(キューサイの社長の指摘に「助けられて」)成功に至った、というところにもものすごく勇気付けられました。

自分は現在31歳で、大学時からホテルマンを続けていて、ある程度仕事はできてある程度の評価は頂いていて、上役達から次のステップも提示されているのですが、

「コレジャナイ」

と感じながらも

「じゃあどれだよ」

ということがわからず、ただひたすら現状を維持し続けてきました。やすやの方のお話は、自分にとってとても勇気付けられるものです。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buysshop.jp/items/6536488>

改めて、ありがとうございます。

まだまだ逃げたくなったり、「無理だ」というような言葉が出てくることもない  
とは言えませんが(泣)

とりあえず

「自分を主人公とした物語を編むことは必ず出来る」

と仮定してしまい、

「じゃあそれはどんな物語か？」

ということを、過去の事例、現在取り組んでいること、未来の目標、という観点  
から今、探っています。非常に波及効果の高い時間になると確信していま  
す。

今回も、頭の中がガラッと書き換わるような経験ができました。

ありがとうございました。  
続編も楽しみにしています！

(大嶋 厚裕 様)

人生を大海原に例えれば、物語をたくさんもつことは、救命セット（イカダと胴衣）をもつことなのだと思います。

#### ■ 出来事は公平、解釈力は不公平

苦しい出来事が起きても、力ある物語を知っていて、解釈力があることによって気を失わないで、前を向けることができる。これは素晴らしい考え方だと思います。

出来事 → 物語 → 心

（解釈）

いろんな伝記なんてみると、戦争、全財産消失、近親者の死、倒産など、すごいことが起きているわけですが、自分の身にはいまのところ、そんな大変なことまでは経験していないわけなので、軽々に「詰んだ」なんて思えない、思っちゃいけない、いや、思いたくても思えない、あきらめの悪い人間になりそうだ、と肚落ちしました。

人生を大海原に例えれば、物語をたくさんもつことは、救命セット（イカダと胴衣）をもつことなのだと思います。嵐がきたときに救命セットがなかったら、結構な確率でおしまいです。人生で嵐が起きることは、たまにあることなので、物語を持つことは必須、物語がないことは自殺行為である！？と感じました。

#### ■ 「物語を処方する医師」になるぞ！

物語には、すごい力があると思いました。

今自分もしんどい時期です、音源を聞いた後に買った「絶望は神様からの贈り物」、NHK でみた長野開拓民（生命の危険、財産なくす経験）の話などを知り、下を向けなくなりました。

しんどいときの自分、家族、友人、会社の同僚、その他の人々に処方することが可能ですし、もちろん、ビジネスにも使いたいと思いました。

#### ■ 物語をプールする

■ 当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

そのためにこの医者になるに、物語を集めることにしました。

- 昨日から、その日あったちいさい物語をノートにメモすることにしました。
- 昨日から、私の履歴書、読みました。
- 自伝系の本を amazon で発注しました。

それから先の手順は、整理できていません。  
まずは日常会話で試していこうと思います。

■いろいろな情報収集が物語として頭に入るようになりました。

例 NHKニュースを見ていて、長野出身の開拓民の話

NHKニュースを見ていて、パレスチナのオリーブオイルを売る女性の話

情報の定着率が上がっています。

■ある出来事が違った物語に見える。

最近巨人は7連敗中で、巨人ファンの父はおかんむり、負けそうになると途中で見るのを止めるわけです。ところが、この音源を聞いてから考えると今迄は一試合ごとの勝敗だけで勝利という快感を味わいと思っていたと考えました。でも、数年後に実現する（かもしれない）巨人大復活物語の序盤と考えれば、少しポジティブに観れるなと思ったわけです。

「これは数年後、巨人が常勝集団に戻るための、生みの苦しみの時期だと思って観よう。3年後誰が成長するかという見方もしてみようよ」

といたら、父も前向きに見てくれました（それでも則本にやられました）。

■肚落ち度のすごさ

物語を語るように説明すれば、物は売れるっていうのは、知識としてはしていましたが、この音源を聞いて初めて、肚落ちしました。だから、自然と行動レベルになっています。

修行を続けて、物語を処方できるようになりたいと思います。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

■ロゴス、エトス、パトスを意識

実体験からも、肚落ちしました。

周りにいた、ロゴスリッチの人、エトスリッチの人の話は、伝わらないわけです。

仕事の際は、すべてそろった状況にもっていくことを心掛けようと思います。

(T. H 様)

今回は音源の内容だけでなく、お客様に売ってからの対応、さらなるサプライズ、感動の起こし方を学ばせていただきました。

どんなに良い商品、サービスであっても物語がなければ売れない。売らないと売れない。とてもわかりやすく説明していただきありがとうございます。

またこの音源を買った時から毎日メルマガでのフォロー、1連の流れを見ることにより物語とはこういうものかということを実感できました。

この音源自体があるお話の後と言うこともあり、そのお話はどういったものであろうかと言う興味が音源を聴くことに募ってまいりました。その私の興味、思いをわかっていたかのようなサプライズ、これには本当にびっくりするとともに感動いたしました。

今回は音源の内容だけでなく、お客様に売ってからの対応、さらなるサプライズ、感動の起こし方を学ばせていただきました。  
ワクワクさせ続けていただき本当にありがとうございます。

(K. I 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



物語に対する解釈が以前とは変わりました。

物語放談会音源ですが、すでに10回近く聞きました。

本当は、日記放談会の音源を購入しようと考えていましたが、メルマガ5000号記念ということで、それこそ「勢いとノリ」で、案内が来てからすぐに購入させていただきました。一種のお祝いのような形です。

はじめは、目的意識もなく聞いていたため、先に聞いていた目標設定3部作、起業音源に比べると気づきが少ないな・・・と感じていました。

しかし、その後、メルマガで、物語についてのフォローアップが行われていく中で、今まで鮎谷さんがおっしゃっていたことと、この物語音源とのつながりがわかるようになり、見えなかったところが見えるようになってきました。

特に、

- たくさんの物語を持つ
- 物語を渡す

という発想が自分にはなく、新しい意義を知ることができ、物語に対する解釈が以前とは変わりました。

これからは、自分自身の物語はもちろん、他者の物語にもさらに意識を向け、自由自在に物語をやり取りできるようになろうと思います。

また、音源の中で、随所に比喩が散りばめられていて、非常にわかりやすく、そして、楽しく聴くことができました。これも、鮎谷さんが、日々、比喩表現を増やしていこうと積み重ねてきた結果だと思うので、5000号という節目にふさわしい一本だったのではないかな、と思いました。

今後、日記放談会の音源も購入し、三種の神器による学習を進めていきたいと思います。

今回も、素晴らしい音源をありがとうございました。

(ルクレクサ 鈴木 健太 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回はあらためて豊富な語彙を持つこと、実際の経験、人の経験を知ることの大切さを改めて感じました。

私は目標設定の3部作と上阪さんの聞く力書く力をすでに購入済みですが日記放談会の音源がまだだったので、先にこちらの物語放談会のほうを購入して、ちゃんと理解ができるか心配していました。

というのも、目標設定のお話も上阪さんのお話も同じシリーズではないのに何かつながりを感じていて単品で聞くより、セットで聞くことにより、より理解できることを実感していたからです。

だから、日記放談会を購入後に物語放談会を購入しようと思っていたのですが、つついあと8時間、あと5時間、あと2時間とメールが来るたびに焦りが出てついに残り1時間というところでポチってしまいました（笑）

そして今までの音源に比べると時間も短く一気に聞くことができ結果、まだ日記の放談会は聞いていないけれど、ちゃんとわかる内容でした。

特に私は通信販売の会社で働いているのでまろお客様にモノを売る仕事です。だから3つの跳躍の話がものすごく響きました。

- 1つ目にキャッチコピーなどで興味をひき
- 2つ目（一番大事！）論理と事例でお客様に幽体離脱してもらう
- 3つ目で希少性、限定性で今買ってもらう

この3つの跳躍の罠（言葉は悪いですが）にすっかり引っかかってしまい私自身が音源を購入してしまっているという事実こそが、まさに鮎谷さんのお話が本当にその通り！と確信できる証拠となっていると思います。

今回の物語というテーマは3つの中でも2つ目の事例に深くかかわっている内容だと感じました。

通販をしているとAIDMAというものが必要なことは知っていました。

アテンション 注意  
インタレスティング 興味を持ってもらい  
デザイナー 欲しいと思ってもらい

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

メモリー 記憶してもらい  
アクション 購入するという行動をしてもらう

しかし、鮎谷さんの生の声で3つの跳躍のお話を聞いているほうがしっくり腑に落ちました。

そういう売り手のほうのテクニックを仕事柄、普通のひとよりは勉強しているはずなのに  
ひとより警戒しているはずなのにすっかり畏にはまってしまい必要のないものを購入してしまったり質の悪いものをあたかも価値あるもののように感じて購入してしまい失敗することが多いのです。

しかし、今まで購入した音源は畏に引かかって大正解！と思っています。  
後悔ももちろんありません。

日記放談会はまだ購入はしていませんが今までの音源とのつながりがものすごくあるというのは薄々は感じるところがあるのであとは本当に聞いてみて、より深く理解したいと思います。

全体を通して「言葉」の持つ力を人生にどうやって役立てるかの具体的な方法がそれぞれの音源で学べると思います。

今回はあらためて豊富な語彙を持つこと、実際の経験、人の経験を知ることの大切さを改めて感じました。

私は本当に40歳を過ぎているのにいまだにいろんなことに興味が出ては勇気を出して実行することも多く、B型らしく変わり者だと自覚しています。（B型の方すみません...笑）

人から見ると仕事と関係ないのにも思えることやお金の無駄使いと思えることやいい大人が・・・と思われるようなこともきってしてきました。

しかし、私の頭にはいつも「無用の用」という言葉や、某車のメーカーのCMやカード会社のCMで「経験はプライスレス」というような内容の言葉を聞いてはそうだそうだ！お金は使ってしまったけど誰でも経験できることじゃないし今何かに役立つわけでもないけど経験しておくことはまさにお金に換えられない！と自分に言い聞かせているんなことをしてきました。そしてしていこうと思っています。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

そうやって行動にも意味を持たせることができるのも言葉の力だと。  
どういう場面でも自分を助けるための言葉を引き出しから取り出せるようにたくさん言葉や事例をストックしておくことが大事だと改めて感じました。

仕事でメルマガやブログを書くこともありますしお客様へお渡しするチラシ作りや広告にかかわることもあります。また個人的に好きな旅行のブログもしているので書くことというのは人生と切り離すことができません。

小学生のころ、作文を褒められてから自分は書くことが上手で書くことが大好きと

思い込んで生きてきました。しかし、音源を購入するたび感想を書こうとするとうまく言いたいことが書けず私ってまだまだだったと現実を思い知ることもあります。

そこに目標が生まれてギャップを埋めるために意識があちこちに働いてまたいろんなことをしてしまうと思います。

まだまだ修行が足りずうまく説明できませんが生き方に意味付けしていただいた気もする音源でした。

長文でわかりにくいとは思いますがちゃんときれいに書くことより勢いで思いのまま書くことを今回は優先しました。

失礼いたしました！

(E. H 様)

自分にも何かしら物語があるということに気づきました。

鮎谷様

今回は音声セミナーを販売していただきありがとうございました。  
物語放談会の音声セミナーについて感想をまとめました。  
心に強く残ったのは次の点です。

・若い時に自伝をたくさん読んでおくと挫折したときの免疫力になる。  
→今からでも遅くはないと思うので自分もこれから自伝をたくさん読もうと思います。

・誰でも何かしらの物語がある  
→自分にも何かしら物語があるということに気づきました。  
これまでの経験を振り返ってまとめてみようと思います。

・物語を作るには言葉をたくさん持っていないといけない  
→自分も物語を作るためにこれからたくさん言葉を集めようと思います。

ただ、物語について正直まだ完全に理解できていないように思います。なので、音源を繰り返し聞いて理解しようと思います。

ありがとうございました。  
そして今後もよろしく申し上げます。

(竹内 友則 様)

今回のこの経験から物語が背後に見え隠れしているものにも気づきやすくなったのではないかと思います。

いつもお世話になっております。  
この度もありがとうございました。  
感想をお送りさせていただきます。

音源とセミナーへの参加で、より理解が深まりました。

物語の持つ強力な力を実体験できました。

今までの日々の生活のなかで気づかないうちに物語を通して無意識に刷り込まれていたことも多くあったんだろうなと思います。

今回のこの経験から物語が背後に見え隠れしているものにも気づきやすくなったのではないかと思います。 物語という視点を持つことであらためて言葉を大事にしていきたいと思いました。

また、物語を多く集めていこうと思うとともに、以前読んだ本ですっと自分の心の中にあった岡本太郎さんの自分の中に毒を持つという本を今あらためて読み返してみようと思います。

そして、自分で物語を紡いでいけるよう訓練を始めたいと思います。

(T. K 様)

日記放談会では、言葉のもつ力の大きさについて今回は、言葉の力もさることながらそれによって紡ぎだされる物語のもつ力について大きな気づきをいただきました。

鮎谷様、こんにちは。

物語放談会の音源を聞かせていただきました。

日記放談会では、言葉のもつ力の大きさについて今回は、言葉の力もさることながらそれによって紡ぎだされる物語のもつ力について大きな気づきをいただきました。

ありがとうございました。

今まで「私の履歴書」の実業家の回はあまりおもしろいと思えず実業家以外の話しか読んでいませんでしたが、

「自伝をたくさん読むことでその人の人生の後追いができ自分の中に経験談が蓄積される。自分に起こるような困難は、必ず誰かにも同じようなことが起こっている。伝記をたくさん持っている、臨機応変に、その時の自分にもっとも都合のよい物語をもってくることでどう対処してよいかかわかる。」

と聞いて、なるほど、と思い遡って読み始めました。

今度は別の視点で読めそうですので、できるかぎりいろいろな物語をインプットしようと思います。

また、アウトプットの面でも言葉と物語の持つ力の大きさ、つまり人は理論理屈では動かないが感情が揺さぶられると動く、自在に物語が操れるようになると人の感情に訴え、行動を起こしてもらうことができるようになるということを知ることができました。

その物に最適の工具を選ぶごとく相手の年齢、属性、趣味などによってその人にじっくりくる言葉を選べるようになるよう何種類もの言葉をストックして自在に使えるようになるよう日記を活用しようと思いました。

どうもありがとうございます。

フォローアップ編、これから楽しみに聞かせていただきます。

(J. N 様)

特に、ロゴス、パトス、エトス、のお話が響きました。  
聞いたことはあっても、そこに鮎谷さんが物語を付けてくれたことで腑に落ち物語の力を感じた次第です。

この度は、貴重なお話ありがとうございました。  
普段、理系の頭で仕事をしているので、新鮮、でした。  
つねづね、文系の方は、人を動かすのが上手いな～、と感じていたのですがその理由の一端が分かったような気がしました。  
特に、ロゴス、パトス、エトス、のお話が響きました。  
聞いたことはあっても、そこに鮎谷さんが物語を付けてくれたことで腑に落ち物語の力を感じた次第です。

言葉を意識し、言葉を操り、そして物語をつむいでいく。  
文章は用いる言葉の選択で決まる、ということを知ったことありますがもっと意識、注意が必要なんだと感じました。

そして売ってからが始まり、という言葉。  
メルマガの、愛されるバカ、で上阪さんの聞く力に触れており、すでに購入した身としては、

「なるほど、そっちにも使えるのか」

と新たな気づきがありました。  
これこそ、売ってから始まり、ってということなんだと、腑に落ちた次第です。

それと、ありがたい、という考え。  
ありがたなくても、「ありがたい」と言う。とても重要ですね。  
以来、嫌なことがあると、その言葉を繰り返し何でありがたいのか、理由付けをするようにしています。すると気持ちが前向きになるから不思議ですね。

フォローアップの音源はこれからになりますが、\*さらなる学びと出会えると、楽しみにしています。\*そして5年後、10年後、と進化できるよう、頑張りたいと思います。

これからも素敵なメルマガ、企画を楽しみにしています。

(医師 K. I 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



目標を達成していく過程においては、時々刻々の気付きにプラス、根底に壮大な青写真が必要であり、手段として自分に都合の良い物語が不可欠であると、具体性をもって深く理解する事ができました。

鮎谷様

(株)セカンドステージスタッフの皆さま

いつもお世話になっております。

また、毎度ながら購入に際して迅速・親切な御対応、本当に有難うございました。

フォローアップ音源の特典もプラスされ、今回も“価値の10倍返し”以上の内容でした。

自分的には＜目標設定シリーズ＞が自己実現セミナーの総論、＜日記放談会＞・＜物語放談会＞が各論といったイメージで日々学ばせて頂いております。

今回の音源に関しては、最初は目標設定、日記放談会の内容から切り取り、少し掘り下げた・・・という印象を受けておりました。その後、フォローアップの音源も併せて拝聴することで、目標を達成していく過程においては、時々刻々の気付きにプラス、根底に壮大な青写真が必要であり、手段として自分に都合の良い物語が不可欠であると、具体性をもって深く理解する事ができました。

また、改めて『愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ』を地で行こう！

と、読書（特にノンフィクション系）のモチベーションも一気に跳ね上がりました。

＜私の履歴書＞も紹介されていたものから読み始めています。

以下、箇条書きで恐れ入りますが、特に印象に残った点です。

- ・人間は物語によって認知の源が形づけられる。

自分の背景にどのような物語をもっているかで、様々な事象に向き合う姿勢が決まる。

- ・他者に対して何らかの働きかけをする際にも、物語を織り込むことは非常に有

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

効な手段。

仕事上、様々な悩みを抱えた方々と接する機会が多いのですが、今回学ばせて頂いた事を念頭にコミュニケーションを図る事で、より豊かな価値提供が出来そうです。

- 様々な物語から自分の今後の人生にフィットするストーリーをあてはめていく。
- どのような逆境も、同様の事象のほぼ全てが、過去に引き起こされている。
- 調子が良すぎる時に自己を戒める物語も必要

人生を一定以上の巡行速度に保つために様々なケースに対応する物語を少しずつストックしていきたい。

- 物語は語彙×組み合わせ

より豊かな物語を編むためにも、言葉・文章に対するアンテナを高く張りつづけてたい。

また、フォローアップ音源で御紹介されておられた強烈な個性の方々の物語を拝聴し、自らが“コレ”と決めた道を、突き進む事がいかに崇高なことか考えさせられました。

**私も自分の人生を主体的に生きていこうと、改めて決意させられた気がします。**

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(辻 栄治 様)

この音源を聴くことによって、ようやく自分のビジネスにおける1つの物語を編むことができ、今後、ビジネスの物語をたくさん編んでいける感触を持つことが出来るようになりました。

この音源は、今までの音源のダイジェストのような感覚で聴きました。3時間とか4時間のように長いものではなく、比較的短いため、エッセンスが凝縮されている印象を受けました。

個別コンサルを受けている最中の私としては、復習に最適でした。  
毎日のランニングの時に聴いていますが、物語音源は最適な長さとなっています。

最初に聞いた目標設定音源から、人生やビジネスを向上させるための、様々な事例や比喻を聴いてきましたが、目標の設定を行う際に、どうしても論理のみの構築となってしまっていました。

物語を通した自分の目標設定や、お客様へ物語を渡すための比喻や言葉を紡ぐことが出来ずにいましたが、この音源を聴くことによって、ようやく自分のビジネスにおける1つの物語を編むことができ、今後、ビジネスの物語をたくさん編んでいける感触を持つことが出来るようになりました。

自己達成予言のたとえや、日本画家さんの襖絵のお話や、自らのストーリーを語り、お客様のストーリーを語り、全くの他人のストーリーを語るという型。

アリストテレス弁論術におけるロゴス、エトス、パトス。3つの跳躍のお話など。

今の私にとっては、まさに自分の型を微修正するのに大変役に立つ音源でした。

情報発信でもつい感情の動かないものを渡してしまいがちです。知識は後ろ側に持って行って、物語を前に持ってくる。

NHKの連続テレビ小説のように毎日すこしずつ進んでいく姿を、ビジネスにも適用していければと思っています。

(オカモトアソシエイツ 岡本 卓也 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buysshop.jp/items/6536488>

目標設定 3 部作・日記放談会・物語放談会と全て購入して、毎日順番に聞き、時々刻々の記を記していますが、本当に「NO DIARY NO LIFE」状態です。

鮎谷様 スタッフ各位

毎日貴重な学びをメルマガおよび音源にてご提供頂きありがとうございます。

物語放談会で学んだことは以下の通りです。

(少し自分なりにアレンジしておりますが。。。)

◆自分の行動を言葉によって定義（言語化）しておかないと時々刻々意思決定するときに規準がないに等しい。

◆判断基準がないと自分を思っている方向には持っていけない。

判断基準が目標に向かって明確であればあるほど、その目標に近づくスピードが速まる。

そもそも言語化された判断基準がなければその方向にすら向かない。

◆自分の中によい物語のを多く持っているとは何か起こったときに、それらの物語によってヒントが与えられる。

◆自分自身でそれらの物語を体験することが一番だが、実質不可能なのでせめて物語をインプットして引出しに入れておく。

◆物語をもっていると自分になえたときにその物語によって勇気づけられることが多くある。

◆言葉が操ることができるとその他は何もいらぬ。

言葉を身につけるということは一生ものの打ち出の小槌を手に入れたようなもの。

◆物語があるおかげでと向こうの世界に幽体離脱できる。

物語をもっていないと何も起こらない。

◆手あかのついた言葉を使う（きれいな作られた言葉はいらぬ）。

人に何か伝えるときも、偉大な人の物語をもってくると説得力が出てくる。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

手あかがつきまくっているから？！

◆言葉（物語）をもっていないと何も始まらないと理解することができれば、第二の誕生日を迎えることができる。

◆言葉は工具箱の道具と同じ。少ないと不便でことをなせない。だから工具箱の道具は増やさないと話にならない。

以上を踏まえ、私も本当に思うことは、言葉なしでは生きていけない。

目標設定 3 部作・日記放談会・物語放談会と全て購入して、毎日順番に聞き、時々刻々の記を記していますが、本当に「NO DIARY NO LIFE」状態です。

時々刻々の記を記せない時は不安を感じます。

不安を感じた時も時々刻々に記すことにより、多少ですが不安を解消することができる。

その時にやはり自分の中の言語化された判断基準がキーとなります。

それがないと自分がどういう方向に行けばいいのかがわからなくなります。

間違ってもいいので、現時点での自分の言葉を信じて判断し、またそれを時々刻々振返る。そんなことを繰り返すことで自分の物語を編んでいるように思えてきました。

自分の物語を編む際にも偉大な人たちの物語が自分の中にあるのとないのでは、全くもって進む方向が変わってくると思います。

現在私は会社のスタッフに上記のようなことを言っただけはアドバイス（元気づけて）しています。というよりその言葉を自分の耳で聞いて、自分に言い聞かせているだけですけどね。。

何れにしても多くの物語を自分の中で持たないと、自分の物語なんて編むことはできないと思えたことが一番の収穫でした。

本当に毎度毎度たくさんの気づきを頂き、ありがとうございます。

私も早くそちらへ行きたいと、日々精進しております。

（製造業 部長 Y. T 様）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

物語の効果効能・物語と目標や日記との関連性・具体的な事例をわかりやすい語り口で語っていただき、「自分にもできそうだ」と日々物語を意識して生きるようになりました。

日記放談会を購入し、時々刻々の記を書く中で、大きなパラダイムシフトを何度か経験し、日記の力、言葉の力を時々刻々感じています。

そんな、日記と密接な関係にある「物語の力」の案内を頂いたときに、日記放談会買ったばかりだしなあ、と一瞬躊躇しましたが、鮎谷さんの発信する内容、クーポンや期間限定価格などのオファーがあり、結局買ってしまいました。これが「買わずにはおれなくなる」の一部分なのかと身をもって体験したところ です。

そんな経緯で手に入れた物語放談会・フォローアップ音源ですが、手に入れて以来通勤中やジョギング中に毎日聞いています。

音源の中で、物語の効果効能・物語と目標や日記との関連性・具体的な事例をわかりやすい語り口で語っていただき、「自分にもできそうだ」と日々物語を意識して生きるようになりました。

ただ、自分には物語の型がまったくインストールされていないことに気付かされ、状況に応じて使い分けることができないのが悔しいところではあります。

ですから、！や？がたったことを時々刻々の記に記すとともに、物語の蒐集が日課になりました。

そうして日々暮らすなか、物語の力を体感する出来事がありました。ある公的機関主催のセミナーで、役人の方と民間研究所の方それぞれの講演を聞いた時のことです。

役人の方の講演は、「政策目標、事実、データ」を淡々と語っておられ、民間研究所の方の講演では、「政策目標、事実、データ」に加え、物語・詳細な事例を語っておられました。どちらの講演が心に響き、歩留まりがよかったのかはいうまでもありません。

物語には、自分や他人に影響を与え、動かす力があるのだ、という視点や

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

概念は物語放談会の音源を聞く以前にも、知識として耳に入ったことはありましたが、ここまで腑に落ち、臨場感を感じることはありませんでした。

こうなると、日記・物語とセットで語られる「目標設定三部作」が気になって仕方ありません。

「おまえはもう買っている」状態ですね（笑）

早ければ早いほうが、時間を味方につけた方が複利で効いてくる。と音源の中で何度も語られていますが、この言葉が釣り針の返しのように心に突き刺さっています。

と同時に、あれやこれや悩むより早く決断して楽になった方がいいですよ、という趣旨の鮎谷さんの言葉が脳裏で何度もリフレインしています。

鮎谷さんは恐ろしい人ですね（笑）

（製造業総務部 H. I 様）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

自分の人生を生きる為に、色々なパターンの物語を自身に取り込み、色々な場面で引き出せるようになりたいと思います。

鮎谷様 セカンドステージのスタッフの皆様  
お世話になっております。  
いつもメルマガを楽しく読んでいます。

4月に日記の放談会を買いそびれて、今回初めて音源購入となりました。  
結論から言いますと、今月日記の放談会の音源は購入確定です。

今回の物語の放談会の音源を聴きながら、印象に残るキーワードをノートに記録してこれを振り返り勉強して行こうと考えていました。  
2回目も同様に記録して行きましたが、違うところでの気づきがありこれはまだまだ聴き足りないと感じていて、感想文はもう少し聴き込んでからにしようと思っていた所にフォローアップの音源が届き先ほど1回目が聴き終わりました。

聴き終わった今、感想文を送ろうと思い立ち持ちまだまだ理解が足りない部分が多いかもしれませんが今の気持ちを書き出します。

物語・・・非常に興味のあるキーワードでした。  
物語の雛形をいくつ持っているか？ということフォローアップで仰ってましたが、これは先の放談会時の、物語があると打たれ強くなる、解釈装置がうまく機能する、という所に繋がっている人の人生を本を読むだけで疑似体験することが出来る。  
それが自分の物語を形成する上での血肉になるということが非常に納得出来てこれはもう、私の履歴書の鮎谷さんが紹介されていた方達の自伝はすぐにでも読みたいと思っています。

数年前に海外に駐在していた時に、夕方会社で休憩時に日経新聞の私の履歴書を毎日読むのを楽しみにしていましたが、こんなにも深く、ありがたい読み物であるなんて全く気がつくことができませんでした。  
正直に申しまして、その時に読んだ方の物語は全く覚えておりません。

物語＝自分の人生である  
自分の人生の意味、定義があるか？目的、目標があるか？  
自分の人生を生きる。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



自分の人生を生きる為に、色々なパターンの物語を自身に取り込み、色々な場面で引き出せるようになりたいと思います。

言葉にもっと敏感になり、自分の言葉で自分の物語を、自分の人生を生きる第一歩を踏み出せる、今日がその第一日になると思います。

今日から、自分の物語を見つける為に、！！と??を立てて深掘して、考えて、自身の言葉を磨いて行こうと思います。

ありがとうございました。

(製造業マネジメント職 K. N 様)

いつものことながら、非常に感銘を受けました。

物語放談会ありがとうございました。

いつものことながら、非常に感銘を受けました。

最初の音源と後の音源で学んだことをいかにまとめてみます。

- ・ 「塞翁が馬」のように物語になっていると人の心に響きやすい。
- ・ ポケモンのように言葉により場所に意味合いを与える（鮒ストップ）。
- ・ 言葉を道具箱であり、これにより、人生を豊かにする。
- ・ 言葉と同様に写真であっても心に刺さる（田中角栄写真集）
- ・ 言葉に対する感性を磨き、言葉を大切にすることがある。
- ・ 物語を持つことにより、自分の人生に意味付けができる。
- ・ 人は物語をどう生きているか無自覚。目標がないとその場しのぎでなりゆきまかせになる。
- ・ 自伝を読むことにより、その人の人生の総括ができる。
- ・ 言葉として言われてもがんばれないがリアルな人生があるとがんばれる。
- ・ 物語があると、大きな物語を編みやすい。
- ・ 目標設定、日記、物語はそれぞれ関連がある。
- ・ 物語にふれる→なぜ心がゆさぶられるか考える（書き記す）  
→自分の傾向がわかる→目標設定につながる
- ・ 思索しないと、キラキラした世界に引き付けられる。
- ・ 現象ではなく裏側にあるものをとらえる。
- ・ 触発された人生とそうでない人生を考える。
- ・ 外に行く→魅かれる→想う→言語化する→自分の物語を作る。
- ・ 自分の物語を作る→一貫性が保たれる。
- ・ 結論だけではだめで、物語と教訓を持っておくとよい
- ・ 人に伝えるときは物語形式のほうが通じやすい。

フォローアップ音源のほうが後から聞いたので、そちらのほうが頭の中により深く残っている感じです。

自分も、「私の履歴書」等を読んで、物語を増やしていきたい、と思います。

（公認会計士 K. F 様）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回の音源でご自分を 100 歳児とおっしゃる方の事例を聞き、まだまだ 30 代の自分なんて、生まれてないぐらいではないか、何も始まっていないのならば、これからなんでもできる！と、音源の事例で出た物語からも火がつけました。

鮎谷様

セカンドステージ スタッフのみなさま

いつもメルマガのご提供をいただき、ありがとうございます。

今回の物語放談会の音源でもとても多くの学びを頂戴しました。

フォローアップ音源は現在拝聴している最中ではありますが、まずは自分の頭の整理の意味合いも含めまして、感想をお送りします。

大きく響いた部分を自分なりにまとめると、以下の 3 つになりました。

■ 1. 物語をたくさん仕入れていくことが生き抜く糧になる

20 歳になったばかりの女性が

「私はもうおばさんだから、〇〇できない」

という例はとても他人事ではありませんでした。同じようにもう 20 歳だからもう 30 歳だからと、自分の身を振り返ったときに少なからずこんな言葉が口から出ていたことがあったと記憶しています。でも、これって自分の可能性を大いに阻んでしまっているのですよね。もうダメだと言った瞬間に、心の灯火は消え、行動の原動力も失われてしまうという悪循環です。

そして、今回の音源でご自分を 100 歳児とおっしゃる方の事例を聞き、まだまだ 30 代の自分なんて、生まれてないぐらいではないか、何も始まっていないのならば、これからなんでもできる！と、音源の事例で出た物語からも火がつけました。

となると、事例だけではなく、さらに物語を仕入れることで、自分の火をつけるものや時には自分を守ってくれるようないわば道標となりうる出会いもあるのではと感じたのです。

今までは興味があるものをたまにかいつまむ程度だったのですが、今後は貪欲に吸収していこうと思います。

■ 当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます ■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

## ■2.要素（商品・コンテンツ等）に物語スパイスをかけるからこそ人は動く

平成進化論（メルマガ）経由で自分が心動いたエッセンスを見せていただきました。商品・論理・コンテンツだけをさらっと見せられても、ふーんで終わってしまうところを、様々な切り口で語られることで、つつい自分事となり、気づいたら、音源を購入してしまうというまさに「お前はもう買っている」状態です。

自分があみだした論理、あるいは仕入れた論理の部分が素材とするならば、物語スパイスという料理法で、趣味嗜好の違う数多の人に舌鼓をうたせてしまう。素材はもちろん重要ですが、物語スパイスの種類があればあるほど、人を動かす可能性が広がる。だからこそ語彙力や森羅万象に興味を示すことが大切なのだ、今までメルマガでも拝見してきたことが、腹落ちしました。

## ■3.論理のアナロジー展開で自分オリジナルかつ、再現性のあるものになる

論理について、それをそのまま発信するのではなく、受け手の心に刺さるような表現手法にするからこそ、人が動かされる。さらには、その名称にオリジナリティーがあるからこそ、聞き手の心に残り続ける効果があるのだと感じました。

北斗の拳セールス、摩擦ゼロセールス

まさに私がこの手法にひっかかった？というより喜んで音源の購入をするにいたったのもこの効果によるものだと思うのです。

先日自分なりに考えたフレームワークがあり、そこにオリジナルの名前をつけました。すると、その言葉に愛着が持てるのはもちろんのこと、フレームワークを使う率が高まってきました。さらには、そのフレームを他の人に共有することもできています。ちょっとした名前の工夫。でも、これってとても大きな力があるのですね。

この度は貴重な音源のご提供をいただき、ありがとうございます。  
そして、引き続きフォローアップ音源で、自分の理解を深めさせていただきます。

（H. S 様）

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

音源を聞くことで、自分自身の行動が変わって行く事が快感に思えてきました。(笑)

鮎谷様

この度は、貴重なお話を聞かせて頂き有り難うございました。  
フォローアップの音源も聞かせて頂きました。

特に印象に残ったのは、

「物語のストックをたくさん持つ」

ということです。

自分自身に対しても、他者に対しても物語を持つことがいかに大切か分かりました。自分自身を省みても、様々な理屈を聞いても大切だと思いながらも行動に繋がらなかったのは、そこに意味づけ・物語が無かったからだと分かりました。

理屈だけ聞いても、大体のことはそれが正しい事であることは分かります。しかし、それを行動に移せるか、移させられるかは心が動いたかどうかで決まり、心を動かすには、意味づけや物語が大きな効果を発揮するのだと聞き、確かにそうだなあと思いました。

自分自身の行動を変える為にも、部下を始め他者に気持ちよく動いて貰うためにも、物語を意識して自分の中に取り込もうと思います。

また、人生で自分自身で経験できることはわずかです。しかし、思いもよらぬことが起きるのも人生。そこで、「人生詰んだな」と思ってしまうのは確かに当然のことですね。

その逆境を乗り越える大きなワクチンのようなものが、先人達の自叙伝などの物語のストックを持つ事なんですね。

早速、ブックオフで数人の「私の履歴書」を購入しました。  
少しずつでも物語のストックを増やして行こうと思います。

子供達にもマンガからでも偉人達の自叙伝など買ってやろうと思います。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

音源を聞くことで、自分自身の行動が変わって行く事が快感に思えてきました。(笑)

鮎谷さんの術中にはまっていますね。

次々と音源を購入してしまいそうです。(笑)

今後ともよろしくお願ひ致します。

この度は、有り難うございました。

(林 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回の音源で物語のメカニズムを知ることにより、自己成長が大幅に早まるものと確信しています。

感想が大変遅くなり申し訳ありません。

物語音源が出てすぐに購入したのですが、最初の音源は一つ一つのお話は素晴らしいものの、私には全体を流れる思想というものがつかめず感想をお送りできないでいました。

しかし、追加の音源を頂いて、その意味合いがはっきりしました。

これほどのものを無償提供いただき非常に感謝しています。

今回は鮎谷さん自身が、最初の音源の反響に疑問を感じ、無料の放談会、音源提供を企画されたとのことでした。

鮎谷さんは「価値の10倍返し」をいつも言われていますが、今回はそれを目の前で見ることができました。

このようにすれば顧客の信頼を勝ち得られるのだという、好例を示して頂いて、それ自体が良い学びになったと思います。

物語音源音源を聞いた感想に移りますが、私は幸運にも、年を取れば取るほど進化していくという物語がインプットされていました。

そして、その源は40代半ばから70歳を超えるまで投獄されていて、その後、南アフリカの大統領となりノーベル平和賞を受賞したネルソン・マンデラや60歳を超えて、ケンタッキーフライドチキンのフランチャイズのビジネスモデルを考案して広めたカーネル・サンダースの生涯であることに気づき物語の力を感じました。

今後は物語の要素をさらに意識して情報を集め、自分なりの物語を編んでいきたいと思います。今回の音源で物語のメカニズムを知ることにより、自己成長が大幅に早まるものと確信しています。

目標達成放談会は目標を立てると達成するメカニズム、日記放談会では目標を立てて達成するためのツール、そして、今回の物語放談会では目標の立て方について語られているとの理解です。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

この3本で、自己変革のモデルが語りつくされていると考えて間違いないと思っています。

ただ、今回の物語編はやや応用的な要素を含みますので、初めて聞く方は目標達成音源や日記放談会の音源を先に聞くことをお勧めします。

ベストは発売順どおりの目標→日記→物語の順でしょう。

これで、自己変革の手法はインストールされました。

次に鮎谷さんにはこれらの力を使って、外部に影響を与える方法のご教授を期待しています。

本当にありがとうございました。

今後ともよろしく申し上げます。

(半導体エンジニア 蔵本 貴文 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



なぜ、この感情が湧いているのか？をもっともっと掘っていく。掘ったものを言葉にする。その積み重ねが物語へとつながっていく、という流れをご説明下さり、パッと気分が晴れたような感覚を覚えました。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

鮎谷様

この度は貴重なお話をありがとうございました。

自分の物語を個別コンサルや各種コンテンツにもっともっと活かせるようになりたい、と音源購入&セミナー参加させて頂きました。

もっとも印象に残っているのが、

「自分の中で処理できない感情が出てきた時がチャンス」

という一節です。

まさしく今の自分だ！

と、直球を投げ込まれた気分でした。

短期とはいえ、新しい職場で働くことになり、それへの様々な感情が渦巻いており、それを言語化できずにいました。

というより、言語化することに向き合っていなかったと思います。

なぜ、この感情が湧いているのか？

をもっともっと掘っていく。掘ったものを言葉にする。その積み重ねが物語へとつながっていく、という流れをご説明下さり、パッと気分が晴れたような感覚を覚えました。今の感情を掘り下げて言語化し、さらにコンテンツへと昇格させられるように、言語化を試みていきます。

物語の持つ説得力は、本やセールスレターなどでも読み取ることができ、読んで下さっている方を自分の世界に引き寄せる力がある、

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

と私は考えておりました、今回の音源やセミナーがそれについてとても良い道し  
るべになっているように思います。

引き続き音源を重聴してまいります。

この度はありがとうございました！

(建設会社勤務 金山 直志 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

人生を数々の例え（マラソン、短距離走、トライアスロン等）として話されていた時には、まさに身体に電流が走りました。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

鮎谷さん、及び  
セカンドステージの皆様

この度は貴重な放談会を開催（しかも無料）して頂きまして誠にありがとうございました。

実は物語音源の感想をまだお送りしていなかったもので、今回そちらの分も兼ねて送らせて頂きます。

実は最初に今回の物語音源を聞いた時には、正直これまでの他の音源（日記放談や起業放談など）と比べると、気付きの数が少なかったという印象でした（失礼な感想ですみません）僕の受け取り方がまだまだ未熟なのだろうと思っていた所に、まさかの追加放談会のお知らせが。

なんでこの人はその受け手の機微まで分かるのだろう？と、これだけは直接聞いてみたいと思い、日程もドンピシャで空いていたので今回参加させて頂きました。

セミナーの中で一番響いた言葉が

「人は論理では動かないが、物語に付加した教訓は無意識に直接入り込む」

というもの。

人生を数々の例え（マラソン、短距離走、トライアスロン等）として話されていた時には、まさに身体に電流が走りました。

ちなみに放談会後に超貴重な補習までして頂いて、幾つかの疑問も解消して頂いて、もう本当に感激でした。

僕も人に希望を渡せる人間になりたいと思い、必死に鮎谷マインドをインストー

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

ルしている最中です。

いつか僕がそうした人間になる事が、間接的にでも鮎谷さんの希望提供のお手伝いになると信じて、これからも背中を追いかけさせて下さい。

今日はありがとうございました、これからもよろしくお願い致します。

(野見 将之 様)

放談会の中で、数多くの物語を提示していただき、その度に自問自答していました。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

鮎谷様、スタッフの皆様

本日は、素晴らしい放談会を開いていただき、ありがとうございました。

最近、音源は頻繁に聴いていましたが、直接お会いできていなかったため、仕事の予定を変更し、足を運ぶことにしました。音源には音源の良さがありますが、やはり直接お話を伺うことのほうが、自らの心に与えるインパクトは大きいなと感じました。

放談会の中で、数多くの物語を提示していただき、その度に自問自答していました。

リトマス試験紙の話は、以前にも聞きましたが、それが物語にも応用できると知り、早速やってみようと思いました。それを行うことにより、触発される人生と触発されない人生を区分けし、自分の人生を生きるための羅針盤作りをしていきたいです。

そして、今回の中で最も印象に残ったことは、

「職人アンド経営者」

という言葉でした。

本を読むと、職人的経営者に対して批判的に書かれていることが多く、自分もいつかは経営に専念していかなくてはいけないのかな・・・と勝手に思い込んでいました。その度に気分が盛り上がりません。自分がいました。

それが、放談会の中で、あの鮎谷さんが「職人アンド経営者」という言葉を使ったことに驚きを感じました。と同時に感銘も受けました。

何か許しを得たような気持ちになり、胸のつかえが取れました。

不要な先入観があったことに気づかされ、また、それが設定・更新してい

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

る目標にも現れていないか再点検する必要があるな、と思いました。

また、放談会に参加している方からは、向上心、向学心が出ていて、同じ空間にいる自分も感化されました。

本当に、どんな環境に身を置くかが重要だと痛感しました。

本日はこのような学びの機会を企画していただき、本当にありがとうございました。

今後とも宜しくお願い致します。

(ルクレクサ 鈴木健太 様)

音源を聴かせていただき、物語が人生に及ぼす影響力を理解しました。

鮎谷様  
スタッフの皆様

この度は、物語音源のご提供ありがとうございます。

目標、日記に続き物語音源を購入させていただくことで3種の神器がそろいました。

音源を聴かせていただき、物語が人生に及ぼす影響力を理解しました。

様々な物語をストックすることで、様々な出来事に対して都合のいい解釈装置をもてるようになること腑に落ちました。日経新聞の「私の履歴書」と併せて「文化」欄も読むようになりました。

最近、反論できない理論理屈で行動を促されてもやる気が出ないということがありましたが、後に音源を聞いている際に突然、「あの時は物語がなかったな」と気が付きました。

これまで自伝などあまり読まないジャンルでしたが、今後は進んで触れていこうと思います。

改めまして、この度は物語音源提供ありがとうございました。

(K. G 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

私も、偉人の評伝には価値を感じず、自伝には凄いパワーを感じ、価値があると思いい好んで読んできましたが、なぜそれが価値があるのかという事には深く思索してきませんでした。それがこの音源を聞いて、納得しました。

物語放談会音源を購入しましたので感想をメールさせていただきます。

他人の人生の鑄型を沢山インプットしておくことで、自分の人生における道の切り開き方に大きな違いが生まれるという話しに納得しました。

私も、偉人の評伝には価値を感じず、自伝には凄いパワーを感じ、価値があると思いい好んで読んできましたが、なぜそれが価値があるのかという事には深く思索してきませんでした。それがこの音源を聞いて、納得しました。

色々な人の人生をこれからも吸収して、自分の人生を切り開く糧にしたいと思いま

す。ちなみに今年の9月に起業し世界展開のビジネスを始めています。

今後も音源を購入したいと思いました。

(株式会社 Aster 鈴木正臣 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



放談会でおっしゃっていた「物語」と「教訓」をセットにするとはこういうことなのかk~とすんなりに腑に落ちました。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

本日は物語放談会に参加させていただきまして、本当にありがとうございました！

まず最初に、私にとっては、初めての「リアル」鮎谷さまに会える機会でしたがメールマガジンを通じての印象と、初めて挨拶させていただいた良い意味での「普通」な印象との大きなギャップに驚きました。

これが鮎谷さまの言われていた、メールマガジンの「鮎谷'（ダッシュ）」効果だと、妙に納得できました。

また、放談会の内容についてですが、こちらは毎日のメールマガジンのように重厚感ある内容で、鮎谷様から紡ぎ出される言の葉が織りなす、まるで「知のライブ」に参加しているかのような、楽しくてあっという間の2時間でした！

物語に秘められた大いなる力に関する放談会がテーマでしたが自分の人生（物語）生きるための抽象化された知見やヒントなどとそれを裏付ける具体的な事例やエピソードが、見事につながっていました。

放談会でおっしゃっていた「物語」と「教訓」をセットにするとはこういうことなのかk~とすんなりに腑に落ちました。

あとは、内容を音源で聞くことと、放談会でお話を聴くことの大きな違いも大きな発見でした。まるでアーティストの曲をCD（今はCDと言わないですね）で聞くのと臨場感溢れるライブで聴くのとの違いと同じだと思いました。

お話いただいている内容は全く同じでも音源だと主に耳だけで聞きますが今回の放談会のように、その場で耳以外の全身で聴くのと自分自身の受け取り方が全

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

然違っているようで、普段以上に「！」がどんどん溢れてきて、ただ、ひたすらメモしている自分がいました。

数ある「！」な言葉の中で、特に私が印象に残ったお話は以下です。  
私のメモですので、自分の解釈が入って記入しておりますことご了承ください。

（放談会の内容について）

自分の人生（物語）を生きるには？  
自分自身の総括を日々行っていく（これが日記を書くこと）

また、数多くの人生の雛形を持つことで、自分の物語の型をたくさん持つことができる。

そうすることで、自分自身の大きな物語を作りやすくなる。  
そのためには、様々な人の自叙伝を知ることが有効。  
そうすることにより、いろんな人の人生を追体験することができる。

また、一人で四畳半の部屋で正座して沈思黙考しても、（永久に）何にも出てこない。

自分の枠を超える機会（世界）を体験する。（はいか、イエスか、喜んで！）

そして、その世界が自分にとって盛り上がる物語なのか？  
盛り上がらない物語なのか？自分自身の反応を確かめる。

その世界は98%触発されないが、残り2%ぐらい強烈に触発される震える世界がある。

その震える世界が、自分の極めたい世界につながる。

そのような言葉にできない、言葉に乗らない体験を言葉にする行為を通じて自分自身の好きなこと、没頭できることを突き詰める、極めていくことで自分なりの「学」をつくりだしていくことができる。

ということ、いろいろな方の事例（物語）をこれでもかとふんだんにお話いただいたおかげですーっと自分自身の中に取り込まれていくような気がして、これが物語の力か！と感ずることができました。

また、自分自身の大きな発見としては、私は人に何かを伝えたい時に、教訓、事

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

実などしか伝えていないことに気づき、そして、私自身に足りなかったのがまさにこの物語の力なのだなあと思いました。

これから、自分自身の人生を、元気で豊かで幸せな人生にするためにこれまで作成してきた自分自身の物語を再度編集し直すと同時に自分自身の感じること、思うこと、行動することを伝える時には自分なりに物語に乗せることも実践していきたいと思いました。

そのために、直近の小さなアクションとして

- ・日経新聞の「私の履歴書」と「文化欄」を熟読することを始めます。
- ・現在、時々しか書くことができていない日記を、時々刻々の記とします。

その他にご紹介いただいた書籍「知のトップランナー149人の美しいセオリー」を購入しましたので読みたいと思います。

アマゾンの商品説明を読んで、私の大好きな分野（宇宙論から、進化論、心理学、哲学、アート）ばかり。

また、シンプルで美しく役に立つこと。まさに私が好きな言葉のひとつである「真・美・善」につながるテーマだと思いました。

今から静かな興奮状態です！

お話を聞いていなければ、ひょっとしたら一生巡り合っていない書籍だったかもしれませぬ。心を震わせる書籍との出会い。これも貴重なご縁だと思いました。

ご紹介いただきましてありがとうございました！  
読んでみてどう感じるかを楽しみにしております。

（その放談会での気づきについて）

・資料に自分のフルネームがついているシールが貼っていることが、我々参加者を大切にされているんだなあと感じました。

・高井伸夫先生の書籍「一流の人は小さなご縁を大切にしている」をプレゼントいただいて感激しました。

・本日の音源をプレゼントいただけたことと聞き漏らしたことも復習でき

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

る！と嬉しく思いました。

そして、なによりこんなに充実した内容、これらすべてのことが無料であることが本当に驚きました！と同時に非常に有り難いなあと思いました。

そして、今後もなんらかの貴社の商品・サービスを購入させていただきたいと思いました。

間違いなく「お前はもうすでに買っている」状態になっています（笑）

これが、ただの表面的なセールステクニックではない、真の返報性のルールなんだと私は感じることができました。

私がこのように感じるのも、私にとって「鮎谷ワールド」が、心震える世界だからなんだと気付くことができました。これも物語放談会に参加させていただいたおかげです。

頂戴した書籍のタイトル通り、一流の人になれるように今日のご縁を大切にしていきたいと思えます。

そして、自分自身の人生を元気で豊かで幸せなものにして、一人でも多くの誰かのお役に立てる人生でありますようにこの命が尽きるまで、時々刻々の自分の物語を紡いでいきたいと思えます。

ぜひとも今後ともよろしくお願い申し上げます！

改めて、物語放談会に参加させていただきましたことに、深く感謝いたします。

どうもありがとうございました！

（西井 貴久 様）

鮎谷さんのように日々の活動を物語化してお届けしそしてその中から僅かでも爪痕を残し人生に影響を与えられるような発信者になろうと改めて昨日のセミナーを受講し決意した次第です。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

鮎谷様、お世話になっております。

昨日は「物語の力放談会」の開催ありがとうございます。

30歳の頃、後輩から「平成進化論」というメルマガがあると聞きそして登録した所から毎日、受信し続け、早14年くらいでしょうか。

たぶん、100号に満たない頃からの読者だと思います 笑

そして 14年越しに初めてお会いできて、楽しく受講させて頂きました。

私は昨日の放談会を受講し「大器晩成」って物語に凄く助けられていたんだと、気づきました。

この物語を知っていることで20代の頃はサラリーマンとしての評価は全然ダメダメでしたが自分は30歳になれば花開くという希望を見出し地道に努力を継続することができていたんです。

ああ、なるほど！

と膝を打つほどの気づきを得ました。

「大器晩成」って言葉と物語を残してくれた中国の『老子』や『三国魏志』には感謝です。

私自身も日刊メルマガを1年ほどの期間運営しておりますので鮎谷さんのように日々の活動を物語化してお届けしそしてその中から僅かでも爪痕を残し人生に影響を与えられるような発信者になろうと改めて昨日のセミナーを受講し決意した次第です。

引き続き毎日のメルマガ楽しみにしております。

これからも宜しくお願い致します。

(加藤 武 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

これまでの自分の人生を振り返り、自分が編みたい物語に基づいて、過去に対して、再解釈を施すことにより、良質なネタが生成され、学びが起こされ、一貫した自分の人生を生きているという感覚を取り戻しつつあります。

日記音源に続いて、物語音源を拝聴させていただきました。

日記音源によって、時々刻々の記を実践し、また、日々ブログでアウトプットする習慣を身に付けている最中です。

鮎谷さんは、アウトプットするから、毎日ネタに困らないとおっしゃっていましたが、外部へのアウトプットをすることで、無意識のうちにアンテナが各方面に張り、日々に適度な緊張感が生まれるようになりました。

また、これまでの自分の人生を振り返り、自分が編みたい物語に基づいて、過去に対して、再解釈を施すことにより、良質なネタが生成され、学びが起こされ、一貫した自分の人生を生きているという感覚を取り戻しつつあります。

物語の力は、過去・現在、そして、これから生成される原石のような事象を磨いて、ダイヤモンドにする力と同じような気がしました。ダイヤモンドにできるか否かは、自分の中にある物語力次第です。

外部にアンテナを張り、原石を見つけ、そして、磨く力を身に付けつつ、微差の積み重ねに精進したいと思います。

(K. H 様)

これだけの内容をこの価格で提供されている鮎谷様に感謝です。

この度、【物語放談会音源】を購入し毎日繰り返し聞いております。

これだけの内容をこの価格で提供されている鮎谷様に感謝です。

今回初めての音源購入であった訳ですが、これから目標設定三部作、および日記放談会の音源も購入したいと思っています。

(R. H 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

これまで音源とメルマガを通して拝聴&拝読してきましたが、対面ならではの熱量を強く感じました。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

昨日は、物語放談会に参加させていただき、ありがとうございました！

これまで音源とメルマガを通して拝聴&拝読してきましたが、対面ならではの熱量を強く感じました。（終了後、次の用事があったためご挨拶差し上げられずじまいでしたが、次にお会いする際にご挨拶させてください...!）

放談会の内容からの学びは多く、ノート6ページにわたって様々な言葉と気づきを書き留めましたが、その中でも特に強く感じるものがあったのが、この3点です。

▼四畳半の部屋で正座して沈思黙考しても、何も出てこない。

→特に最近、自分の枠を超える仕掛けを閉ざしていました。昨日のセミナーも、ひとつの外の世界に出ていく機会でしたが、これから意図的に外に出ていく仕掛けをつくっていきます。（日常の延長上にない、外の世界へ。）

▼若いうちから、さまざまな自伝（＝他人の総括）に触れることで、「こういった越境人生もある」というところからインスピレーションを得ていく。

→特に、自伝はリアルな人間を介在させられるところがよい、ということで、早速、日経『私の履歴書』バックナンバーや、朝日『ひと』を読んでいます。中学・高校での歴史の学習も、単に年号や人名の暗記にとどめず、これまで2000年以上の歴史の中の多くの『物語』の蓄積として再定義できれば、得るものが大きいはず、と考えています。

▼いろいろな人生を見ていて、本当に触発される、震えるものは2%くらい。

→圧巻のアウトプットのためには、圧巻のインプットが必要、という意味合いにも解釈しました。たかだか数編の自伝を読んで、

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



「うーん、いまいち響かないなあ。自伝読んでも意味がないのか。」

とまっているようではいかん、ということですよね。  
大量のインプットがあるからこそ、触発される、震えるものに出会える、と思っ  
て、まずは多くの物語に意識的に触れていきます。

自伝について、また後でというお話がありました、聞き洩らしたかもしれませ  
ん…。音源をいただけるとのことで（ありがとうございます！）、復習させてい  
たきます。

また、お土産にいただいたクーポンで、気になりつつも手を出せていなかった『  
転ばぬ先の杖放談会』音源を早速購入いたしました。5月から部署異動  
になり、まさにスモールビジネスを立ち上げていくところなので、学ばせていた  
たきます！

引き続き、どうぞよろしく願いいたします！

（K. I 様）

武道が「礼に始まり礼に終わる」ならば自分の人生に起こる様々な事象は「言葉に始まり言葉に終わる」として、常に前向きで肯定的かつ相手にとって最大の価値提供が出来る様「言葉力」を磨きます。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

「気付いたことや深く学んだこと」

- 人に伝える時、物語だけでも伝わるが、教訓があるとさらに入り込みやすくなる。
- 「人生は①マラソン②短距離③走り高跳び④走り幅跳びの様だ」など物語から入るとロジックで反論しにくくなる。

「特に印象に残ったこと」

- 痛みを言葉に表せると心が洗われる・落ち着く（石先生の例え）
- 自分の物語＝人生を生きている人は少ない。  
自分の人生を生きるためにどうするか？
- 意味付けは、物語・言葉によって誰かが与えたフィルター。  
大切なのは自分が引かれるかである。

「今後活用できると思ったこと」

- 部下指導の際に、物語と意味付を付与する事を心がけ  
更に理解が進む様心掛ける。

このたびのセミナーにご参加いただいて、「決意したこと」

- 言葉の力をもっと学ぶため、エッセイや私の履歴書などをフル活用する。

「これから行動しようと思うこと」

- 頭でボンヤリと描いている自らの理想、あり方、進みたい方向を言葉で意味付けしてみる。

武道が

「礼に始まり礼に終わる」

ならば、自分の人生に起こる様々な事象は

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

「言葉に始まり言葉に終わる」

として、常に前向きで肯定的かつ相手にとって最大の価値提供が出来る様  
「言葉力」を磨きます。

ありがとうございました。

(河野 徹 様)

今回お話をお聞きして、今から実行したいのが『〇〇学』を作るという事です。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

本日はありがとうございました。

また、以前に個別コンサルで相談させて頂きました『とある物語』も気に留めて下さり、ありがとうございます。

今『とある物語』を作る為に、安定した収入を！

スローガンに日々邁進しておりまして、最近その安定した収入を手に入れる作業の方が楽しいのが事実ではございますが『とある物語』の主人公も諦められない理由がありますので、定期的に私に語りかけてくれます。

もう少しだけまってくれとお願いしているのですが、早めに対応しないとイケません。

そんな話ですので、安定した収入を得る為に今回音源の購入とセミナーに参加させて頂きました。

今回お話をお聞きして、今から実行したいのが『〇〇学』を作るという事です。

安定した収入の為に売上を伸ばす必要がありますが、音源にも語って頂きました様に

人は買わされるのが嫌い、買ってもらった後が勝負！

という事を考えるのであれば、

〇〇学を提供する事が1番だと思いました。

あと、物を買って頂くにあたり、

『物語はロジックでは変えられない』

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

という言葉が何度も頭の中で反芻しております。

買って頂くにあたり、具体的にイメージしていただける様な『物語』を作れるくらいロゴス、パトス、エトスを持つ様にします。

本日はありがとうございました。

(前島 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

音声で繰り返し復習し、更なる深みへ行きたいと思っています。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

鮎谷様  
大塚様

日曜日は、物語放談会を開催頂き有難うございました。

今まではメルマガ、音声のみの鮎谷様でしかなかったところ、“生”鮎谷様にお会いできるきっかけを頂き、これからは鮎谷様をイメージすることで鮎谷様が発信される言葉や音声によりいっそう感情を入れることが出来る様になったことだけでも大きな収穫を得ることが出来ました。

これが、鮎谷様がおっしゃている

’外に出る＝体験（実際にセミナー等に足を運ぶこと）による効果’

であることをまさに身をもって実体験させて頂きました。

放談会で一番印章に残っているのは、ロジックで正しくても頭で理解していても、

「そうだよなー」

だけで終わっては何も進展はなく（何も意識しなければほぼ100%そうになっている）、なぜ！や？と思ったのかを言葉によって物語化（意味づけ）することによって自分の感情が動かされ、感情が動くことによってそれが結果、モチベーションへと昇華（生きる力の源？）し、外部環境に流されることなく

’一步一步’

自分の物語（目標）の主人公として生きていく行動へとつながっていく、そのベースとなるのが時々刻々の記、つまり日記（物語）であると理解しました。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

まだ理解不十分な点もあるかと思いますが、音声で繰り返し復習し、更なる深みへ行きたいと思っています。

以上、率直な感想を述べさせていただきました。

今後とも引き続きよろしくお願いします。

(T. K さま)

私は今回の放談会の申込から放談会の後までの一連の御社のサービス全てが鮎谷様のメッセージの具現化であるような印象を持ち、大変嬉しく思いました。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

先日は物語放談会に参加させていただき、誠に有難うございました。最初の物語に関する音源を購入させていただいたのがきっかけです。

何故購入したかというと、本音源のご紹介メッセージというかコピーライティングがめちゃくちゃ心に刺さってしまって、思わず

「自分はこのを買わないと絶対後悔する」

と思い込んでしまったからなのです。

結果、即断即購入致しました。

音源の内容も大変満足出来るもので、私はコスパに全く不満が無かったです。ところが購入後すぐに鮎谷様より放談会に無料招待するとの企画が発表となり、びっくりしつつも参加しないわけには行かないだろうと、仕事の出勤日であるにもかかわらず、えいやっ！と申込をしてしまいました。

申込から開催日当日までの間に、御社より何通ものケアメールをいただき、その手厚いサポート、サービス精神にも感動致しました。

当日は、他の参加者の方々も感想でおっしゃっていましたが、参加者個人名がきちんと印刷された資料が用意されていたり、高井先生の本まで頂けたりで、しかも会場の雰囲気もざくばらんなもので私としては最高の気分でした！

放談会の後もフォローのメールを頂けたり、そして事前には告知されていなかった当日音源も頂きました。

私は今回の放談会の申込から放談会の後までの一連の御社のサービス全てが鮎谷様のメッセージの具現化であるような印象を持ち、大変嬉しく思い

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



ました。

そして学びの上でも大変参考になります。

これは放談会への参加という体験を経なければ気付けないことだと思いました。

本来であれば放談会の内容についてのご感想をお送りすべきところかと存じますが、今回の体験の感謝をお伝え致したくこの様な感想メールになってしまいました。

また言葉足らずな感想になり申し訳ありません。

この度は本当に有難うございました。

(不動産業 K. T 様)

「物語放談会」（フォローアップバージョン）の音源を聴かせていただいたことで、オリジナルな物語を編むことの重要性をさらに強く感じることができました。

今回、「物語放談会」（フォローアップバージョン）の音源を聴かせていただいたことで、オリジナルな物語を編むことの重要性をさらに強く感じることができました。

「目標設定3部作音源」を聴き、物語形式で目標を設定してはいましたが、今回の音源を聴かせていただいたことで、自分の体に染み込むレベルまでさらに「物語（目標）」を編み上げていきたいという思いを強くしました。

外の世界にふれる機会をこれまで以上に多くし、「物語音源」、「目標設定3部作音源」、「日記音源」を何度も行き来しながら、オリジナルな「物語」を編み上げていきたいと思います。

#### 【物語音源で得た気づき・教訓】

◆「物語」には自然に体に染み込む力がある。

◆教訓と結びついた「物語」によって、自分の人生に起こるすべての出来事に正対できるようになる。出来事の意味が変わる。

◆たくさんの人の物語にふれ、自分が何に惹かれるかを知り、その惹かれた世界で自分が主役になるオリジナルな物語を編むことで、自分の人生を歩んでいるという実感を感じることができる。

#### 【自分にとってのキーワード】

◆「惰性の人生を送っている」

- 自分の人生を生きているという実感をほとんどの人がもっていない。
- 自分の人生に意味づけをしているか。
- 何のために毎日を過ごしているのか。

◆「物語によって、人生にオリジナルな意味を与えることができる」

- 活力がわいてくる、やる気がみなぎる物語の類型をどれだけ持っているか。
- 生きる力は、物語から生まれる。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

- 自伝、エッセイを読むということは、人の人生の総括にふれているということ。
- 人の人生にふれ、立ちどまったところで掘り下げていくと自分が何に惹かれるかが分かる。
- うろちょろしているなかに、衝撃を受ける瞬間が訪れる。
- 自分がどういう存在でありたいか。
- だんだん目標が明確になる。

◆「惹かれる物語は、外の世界にふれることから生まれる」

- 人の物語をみる、抽象度を上げる。
- 物語から、エッセンスを抽出し、自分なりの物語を編み出す。
- 外に行く、惹かれる、何で惹かれるのかを言語化する。
- 外の世界に行かないと分からない。

◆「物語には、マイナスの出来事をプラスに変える力がある」

- 自分で処理できない感情がうまれてきた瞬間がチャンス。
- 自分自身の都合が良い物語を編めば良い。
- 物語のストックをたくさん持っている、様々な出来事が起こった瞬間に、どういう考えで、しのいでいったら良いかを選びとることができる。
- 落ち込んでからでは、そこから立ち直る物語を探す気力がわいてこない。

◆「物語の染み込む力」

- 物語には自然に人の心に染み込む力がある。
- 教訓と結びついた物語は、無意識に入り込む。
- 人は論理では動かない。

(S. K 様)

これから積極的な物語収集と解釈装置の起動を行えば行うほど、激安感が湧いてくると思います。

鮎谷様 セカンドステージスタッフの皆様

いつもメルマガ楽しく拝見させていただいております。  
今回「物語放談会音源」を購入し、通勤時に聴いています。

「三田紀房さん音源」購入以来の購入となります。

今回物語の力についてまとめて話していること、かつメルマガ 5000 号記念ということもあり、購入させていただきました。

物語収集と解釈装置の作動が人生に大きな影響を及ぼすことは、わかりましたが、なぜか、ガツンとくる感じがありませんでした。

そこへ追加音源が登場し、聴いてみると「なるほど」と思う内容でした。追加音源を無償配布した経緯のメルマガを読んで、このフォローの仕方はすごいと思いました。

もし追加音源なしだったら、次の音源購入の閾値が高くなるどころでしたが、追加音源によって、鮎谷さんのコンテンツを更に購入したくなる気持ちが湧いてきました。

メルマガ自体に物語が仕込まれており、具体から抽象へがしっかり形作られていることの解説を聴いて、「なるほど」と腑に落ちた次第です。

追加音源が加わることで、物語放談会音源のコストパフォーマンスは飛躍的に上がり

とても安い買い物だったと思いました。

これから積極的な物語収集と解釈装置の起動を行えば行うほど、激安感が湧いてくると思います。

私は仕事柄日々患者さんの病歴を収集しており、そこから患者さん向けの病気の講演会に使うネタを仕入れています。できるだけ患者さんにわかりやすい講演会を行うよう心がけておりますが、これからは物語＋解釈装置を更に上手く活用することで、講演会に参加した方に腑に落ちるような内容にできればと思います。

「私の履歴書」を含めて積極的に物語収集にも励んでまいります。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buysshop.jp/items/6536488>

この度は、自分の人生にも仕事にもとても有用なコンテンツを提供いただき誠にありがとうございました。

今後とも宜しく願い申し上げます。

(医師 S. S 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回の音源は他と比べても短めではあったのですが、自分にとっては一番インパクトがあったように思います。

鮎谷様 大塚様

物語放談会の感想を送付させていただきます。

今回の音源は他と比べても短めではあったのですが、自分にとっては一番インパクトがあったように思います。

それは、

自分の物語を持って生きていないと他人の物語を生きることになる

ということと思えたからです。

自分は打たれ弱いというか、他人に影響されやすいというか、どうも心の軸というか耐久力が今一つと常々考えていました。

そこに来て、鮎谷さんから

物語を持っていると耐久力が強くなる

インプットしている情報、ストーリーの量で解釈装置が置かれる

僅差の積み重ねが大差になる

言葉によって現実世界から一度離れる

新しい世界を作る

ということを知って、今まで他人の物語を生きてきてしまっていたかもしれないと思いました。

特に印象に残ったところとしては

アリストテレスの弁論術からロゴス（論理）、パトス（感情）、エトス（人格）から最終的には誰が？

ということが重要であり

影響を及ぼそうと思ったら自分に返ってくる

3つ揃うとものが売れていく

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

つるつるの言葉ではなく、刺さる言葉しか使わないと決める  
専門用語はたくさん知っていた方がよい  
言葉を持っていることで、幸福を感じられる  
ということです。

今回の音源を聞いて、これからは自分の物語を生きていこうと思えるよう  
になりました。  
フォローアップ音源も今聞いているところで、これで理解が深まればと思  
っております。

ありがとうございました。

(K. S 様)

音源を通してココロ踊ったのは、すでに自分に認識がありながらも灯台下暗しの、幸せになる青い鳥を、数多く発見できたことです。

みなさまの感想からも、同じポイントで反応されてる方が多くいらっしゃるのですが、音源を通してココロ踊ったのは、すでに自分に認識がありながらも灯台下暗しの、幸せになる青い鳥を、数多く発見できたことです。

あげれば数多いのですが、特にアタマにこびりついて離れない2つを申しますと。。。

1つ目が、人間万事塞翁が馬。

物語を持っているほど、それは自分であれ、他人であれ、その数があればあるほど、パターン認識があるほど、メンタル的に勇気に代わる、代えられるのでないかという希望が持てたんです。

さすが希望提供業の権化・鮎谷さん、シナリオどおり、希望という灯火、光を授かってしまいました。ありがたいです。

錯覚でしょうか、モノクロのメルマガがカラフルにみえます。（眩しい・・・）

自分の過去の痛々しい、目を背けたくなる事柄は、肯定、もしくは笑い飛ばせるネタとして練り上げればどんなムゴい、ヒドい事象でも、自分万事塞翁が馬ですし、

未来のありたい姿、まったく想像つかないのであれば、他人の物語のお気に入り一部を拝借して、色々組み合わせるとワクワクする未来しかないとわかれば、何があっても起こっても、自分万事塞翁が馬になりえます。

失恋とか、  
病気とか、  
入院とか、  
詐欺とか、  
交通事故とか、  
大金失ったこととか、  
家族との関係とか、

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



他人に迷惑かけまくることとか、  
そのほか他人に口外できない恥ずかしいこととか、

正直、上記の出来事に打ちのめされ続ける生き方でした。

ただ、上記がなければ、いまの自分がいないわけで「自分しかない物語」があるから、相当成長した実感があります。ネタと笑いしかないじゃないか、私的な新喜劇にできるんじゃないかなんて、その瞬間は幸福に見えなさそうな時々刻々も、色々フラッシュバックすると感謝しかありません。ありがたいです。

2つ目に突き刺さったことなのですが、平成進化論のメルマガ自体が、最高のフォローアップテキストであることの再認識です。

鮎谷さんは、ご自分を、希望提供業と表明されてますが、僕の中では、生き方応援業、だと改めて感服したんです。

個人的に、（漫画誌）ジャンプや、スポーツのたどろが頭にスッと入り、すぐに同化しております。（定着度は別として汗）  
似たような体験がビジュアル化されると、自分事に即、置き換えることができます。（歩留まり率は別として汗汗）

ですので、今後も毎日の逞しく力強いストロークに期待しながら、何か恩返しをしないと割に合わないじゃないか、というメルマガに対する罪悪感が、湧き出てきておる次第です。。。

決意表明です。

ちょっと抽象的ですが、鮎谷さんとは遠く及ばないまでも、1羽（1話？）でも多くの幸せの青い鳥を、ご縁ある方々に提供さし上げたい、そんなあり方を目指します。

そして、それを具現化するために、これからフォローアップ音源を拝聴します！

今後ともよろしく願いいたします。

今日もメルマガ、楽しみにしております！

（K. Y 様）

これからも、大量行動によって物語を大量インストールし、心が震える内容を言語化し続けようと思った次第です。

いつもお世話になっております。

今回も貴重な音源を発信していただき、ありがとうございます。

今回の大きな学びは、

「心が震えた物語を自分にインストールすると、それが、将来、自分の文脈の中でオリジナルの物語になっていく」

「インストールした物語が多ければ多いほど、オリジナルの物語は、多軸から織り込まれて美しくなる」

ということです。

まず目標設定があり、その目標に向かう大量行動の成果が、時々刻々の日記で言語化され推進力となり、その全過程で「インストールされた物語」が作用し、自らの「オリジナルの物語」に置き換わっていく。この編まれ続ける物語がさらに自らを没頭没入させ、圧巻の領域に至り、それは、美しい。

これからも、大量行動によって物語を大量インストールし、心が震える内容を言語化し続けようと思った次第です。（あと数日でブログも2000号！）

また、最後のスポーツの例えが、非常に刺さりました。

どんな物語を選ぶかは自由ですけど、選んだ物語によって、メッセージは変わるということ。だからこそその目標設定であると腑に落ちました。

目標を軸するから、自らの「オリジナルの物語」が編まれていく。

そうでなければ、他人の「単なる短編集」に過ぎませんから。

今回も上記を始め、多くの学びをありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします！

（奥田 龍史 様）

今回の音源を聴かせていただいたことで、鮎谷様のおっしゃる「物語」の意味を真に知ることができ、全てが美しくまとまり腑に落ちたという感覚です。

鮎谷様

セカンドステージ スタッフの皆様

いつも大変お世話になっております。

「物語放談会」の音源を提供いただき、その上「フォローアップ放談会」音源までプレゼントいただき、本当にありがとうございました。

「物語放談会」および「フォローアップ放談会」を聴かせていただき、ようやく「目標設定放談会」「日記放談会」を通して、鮎谷様がお話しくださってくれていたことの真意をつかめたような気がしております。

それぞれの音源だけでも十分深い気づきを得るものがありましたが、今回の音源を聴かせていただいたことで、鮎谷様のおっしゃる「物語」の意味を真に知ることができ、全てが美しくまとまり腑に落ちたという感覚です。

確かに、自身を振り返ってみても、小説や映画、また実在する人物の生き様に触れることで、心を動かされ、その結果として現在の自分があるのだと知らされます。

ただ、それらを意図的に集め、自身の血肉とし、こう在りたいという自分の未来像を構築するピースとするという発想はありませんでした。

鮎谷様の音源を聴くことがなければ、これまで通りたまたま知り得た知見の中でしかピースを集めることはできなかったはずです。

しかし、今回音源を聴かせていただいたことで、望む在り方、編んでいきたい物語を明確に思い浮かべることができましたので、あとは、日々心を動かされるピースを集め、それを時々刻々の記として言語化していくことで、怒りや嫉妬、欲望の濁流の中であって、安定して目指す方向に向かって航行できるように感じています。

鮎谷様のお話しの中でとくに心に刺さったものとして、経済的に豊かな人や社会的に地位の高い人に気後れしてしまうのは、自分の中に確固たる物語を持っていないから、というようなお話しがありました。これなどまさしく自分自身のこ

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

とを言われているようでした。

些細な波風に揺られてしまうのは、自分の物語を編めていない、自分の人生を歩んでいないことと同じなのだと気づかされました。

周りの同業者から、経営者となるためには職人を卒業していかなければならないと言われ、ここ数年、職人であることから離れようとしてきました。しかし、どうにも力が入らず、仕事をしていく目的もどこか耳障りのいいものを選び納得しようとしていましたが、鮎谷様のお話をお聴きして、“このままでいいんだ！”とまさしく我が意を得たりという感じで、**勇気と希望をいただきました。**それ以来、すっかり現場に立つ職人として陣頭指揮を執っております(笑)

まだまだ高みにある目標ではありますが、このまま微差を積み重ね、高等な物語を編み続けていけば、きっと辿り着けるという手応えを感じております。

鮎谷様、本当にありがとうございました。

今回も確かに「希望」を頂戴いたしました。

(株式会社イーハトーブ 代表取締役 小林 正佳 様)

今回のお話を聞いて我が身を振り返るに、あまりにも外部からの刺激によって一喜一憂していたことが多く、何も自分なりの「物語」を持っていなかったことを痛感しました。

鮎谷様、セカンドステージの皆様

この度は物語放談会及びフォローアップ音源を拝聴させて頂きましてありがとうございました。

この音源は鮎谷さんがご説明されていたとおり、「目標設定放談会」「日記放談会」と並ぶ三部作との位置づけとなっていることがよくわかりました。

私なりの解釈では「目標設定放談会」では、各人が目指すべきゴールを定めるとい比較的抽象度の高いお話があり、「日記放談会」では日々の具体的な行動としての日記の重要性を解説されており、この「物語放談会」ではその中間にある目標達成と日々の具体的な行動を結びつけるための考え方をご教示されていると考えました。

今回のお話の大きなテーマとしては、

「自らの外部からの刺激や外部に存在する事象や物に対してどう処するか」

ということではないかと感じました。

すなわち、自らの外部の領域については自ら直接的にコントロールできるものではないことを前提として、その外部の存在に対して「物語」という「解釈装置」を通すことによって自らの目標達成等に対して有効な解釈を与えようということが主眼なのではないか、と考えました。

お話の中では

- 何でもない場所に物語によって意味付けを与える「鮎ストップ」
- 多くの物語を搭載していることによって危機に瀕しても動じないこと
- 無機質な情報提供だけで物は売れないこと、物語なくして営業は語れないこと
- 一見無意味なものに対して独自の物語を与えることにより「学」が生まれること

などが印象に残りました。

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

今回のお話を聞いて我が身を振り返るに、あまりにも外部からの刺激によって一喜一憂していたことが多く、何も自分なりの「物語」を持っていなかったことを痛感しました。

「ビジネスの世界は世界観戦争」という言葉も仰られていたかと存じますが、「世界観」＝「物語」を持っていなければビジネスの世界で不戦敗になってしまうのも当然の話であると改めて感じました。

今後は特に、

- 他の人の物語を感じようとする事
- いい物語については自分の物語として輸入していくこと
- 外部からの刺激に対してはまともに受け止めるのではなく、物語を介して受け止める習慣づけをすること

を意識してやっていきたいと思います。

今後も新しいお話を楽しみにお待ちしております！

(アンサーズ法律事務所 荒木 俊和 様)

今週、先週の売上げは、去年、一昨年 週平均の2-3倍というような結果になっています。

※物語放談会音源のフォローアップとして、2017年6月4日に開催された「そもそも物語とは（「物語」に秘められた大いなる力）」放談会のご感想です。物語放談会音源をご購入頂いた方にはこちらの放談会の収録音源もあわせてお送りいたします。

【物語放談会音源】を購入し、その後の放談会に参加させていただきました。

今年、3回目の鮎谷さん主催セミナーに参加でした。

2017年1月2日に目標設定セミナーに参加、目標を毎週、紙に書きつづける生活を続けています。

その後【物語放談会音源】を購入した前後から、お客様が急増するという現象がおきています。

この数日は、目が回るほど、多くのお客様が来店し、セールスしなくとも自然と売れていく状態になっています。これが、鮎谷さんのいう「セールスしなくても売れていく状態」なのかもしれません。

この事業を始めてもう6年になりますが、こんな状態になったのははじめてです。今週、先週の売上げは、去年、一昨年 週平均の2-3倍というような結果になっています。

これは、鮎谷さんのセミナーや音源、メルマガのおかげだと思っています。平成進化論メルマガに感動し、今年からその感動を毎週、社員にシェアし続けました。その結果、自分の人生（物語）を生きていることを実感してくれた社員が頑張っ、変わろうという気になってくれたのがうちの業績に大きく響いていると思います。

これからも、鮎谷さんから学んだことも、まわりの人にもシェアし続けていこうと思います。

(R. Y 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

様々な物語を持っておくと、自分の人生に何か起こった時の免疫となることが非常によく理解できました。

【物語放談会/感想】

物語は人生の鋳型である。

物語は人生のナビである。

セミナーの中でお話しされていた上記の言葉がとても腑に落ちました。

私は今年で現在 30 歳後半になるため、20 代で成り上がって成功した、という物語が通じなくなっていたこともあるかもしれません。

その中で、40 代・50 代で何かを初めて成功した・・・

などの様々な物語を持っておくと、自分の人生に何か起こった時の免疫となることが非常によく理解できました。

セミナーの中で語られていた

「この世の中で自分にしか起きたことなんてない」

（誰かしら同じような体験をしている）

という言葉はまさしくその通りだと感じ、時に自身が被害者意識を持っていたことも自覚できました。（自分はこんなに大変なのに、、、という意識です）

また人は生きて行くと自然と、

「目線が下がる」「希望が失われる」「苦悩が深まる」

という概念は実体感を持って感じられました。

意図的に自分を動かす物語をインプットし、自らを励まし続けることを意図的にしないと、セミナーで話されていた「人生が詰んだ」と感じたことがあるからです。

私の理解では、鮎谷様が話していた「物語の力」とは]

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>



「自分の未来に希望を持ち、努力をし続けていくための原動力」

と捉えました。

いまの年齢や、  
いまの能力や、  
いまの立場で、

決して何かをあきらめる必要はなく、新しい物語をインプットして、自身を励ましながら努力を続ければ何を目指すこともできる。

この音源からはそんな勇気を与えて頂いたと思います。  
ありがとうございました。

(営業 T. A 様)

購入者として、このサービスに揺さぶられた感情を体験できたことで音源購入の元がとれたところか、今後の人生の大きな財産となる鮎谷さんが常々仰られている10倍返しのインパクトを頂きました。

鮎谷様

セカンドステージスタッフの皆様

今回も貴重な学びのご提供ありがとうございました。

正直に申し上げますと、物語放談会音源を聞いた直後の感想は「!」でも「?」よりも、「...」の方が多くを占めていました。

私の思考がまだまだ未熟なため、それまでの音源と比較すると鮎谷さんのお話が自分の中にすんなりとして入ってこないという不安を覚えました。

そんな中、音源購入者を対象とした物語放談会無料フォローアップセミナー及びその音源の無償提供の通知があり、地理的にセミナーには参加できなかった私はフォローアップ音源の到着を、首を長くして待っていたのですが、その間は、お客様目線にたったビジネスというのはこういうことか、と、まさに目から鱗の思いで徹底的に模写して自分の中に取り入れたいと強く思いました。

購入者として、このサービスに揺さぶられた感情を体験できたことで音源購入の元がとれたところか、今後の人生の大きな財産となる鮎谷さんが常々仰られている10倍返しのインパクトを頂きました。

届いたフォローアップ音源は、期待通り「!」「?」の連続で鮎谷さんのお話がそれまで以上にどんどんと自分の中に入ってくる気がしました。これもまた鮎谷マジックですね。

フォローアップ音源の中の

- 惹かれる物語を見つけ、何に惹かれたのか深堀し言語化する
- 職人に惹かれるのだからしょうがない、職人&経営
- 人間にとって一番辛いのは一貫性がないこと

というフレーズで、

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

日記放談会音源を聞いたあとに始めた「時々刻々の記」の方向性が明確になりました。

目標設定・日記・物語の三シリーズが私の中でもしっかりと繋がったと確信することが出来ました。

ありがとうございました。

(専門商社 海外勤務 Y. K 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

まだまだリピートして、鮎谷さんのエッセンスを味わい尽くしたいと思います。

いつもありがとうございます。今回も大変勉強になりました。以下印象に残ったところです。メモ書き風で失礼いたします。

- 自伝を読む

- 人の人生に興味を持つ

色んな人の人生を追体験してみる

- 外に出て、色んな物語に触れる そのことで自分なりの物語を編み直す  
安住の地に閉じこもりがちなところを、そとにでよう、という気にさせてもらいました。

- 人生にはまさかがつきもの

自分には起こらないと思っていることが起こるのが世の中。

リスク対策をした上で、もし自分にリスクが降りかかってきた場合の物語、解釈力も持ち合わせておくべき。

上記のことを実生活に生かしていこうと思いました。

まだまだリピートして、鮎谷さんのエッセンスを味わい尽くしたいと思います。

今後ともよろしく願いいたします！

(営業 Y. I 様)

日記、物語と購入させていただきましたので、目標の音源も楽しみです。

お世話になります。

高橋と申します。

以下、物語放談会音源 感想となります。

物語放談会音源を聞きまして、物語がどうしても必要かが理解できました。

物語を多く自分の中にストックしておくことで、自分の中の引き出しが多くなり、

そこから何かを選び取ることができる。

人生で様々な想定外のことがおきても、同様な人の体験からそこへの対処ができる。

年齢で諦めそうなことも、中年以降に事を成した人の物語を知っておくことで、そうではない人とは違う思考が働く。

病気を克服した人・借金を抱えた人・人間関係で苦しんだ人などそれぞれ、その時何を思考し、どう乗り越えていったのか、どのような言葉を発していたのかが自分の中に知識としてストックされる。

その物語の蓄積して、自分がどう行動して、どう人と接し、どのような言葉を発すべきかを自分流にアレンジして、紡ぎ出す。

自伝を読むモチベーションが俄然と上がりました。

良い音源ありがとうございます。

日記、物語と購入させていただきましたので、目標の音源も楽しみです。

(高橋 貞治 様)

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

あなた様の物語放談会音源のご購入を  
お待ちしております。

お申し込みは以下よりお求めください。

当音源（物語放談会）はこちらからお求めいただけます。

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>

■当音源（物語放談会音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://shinkaron.buyshop.jp/items/6536488>